

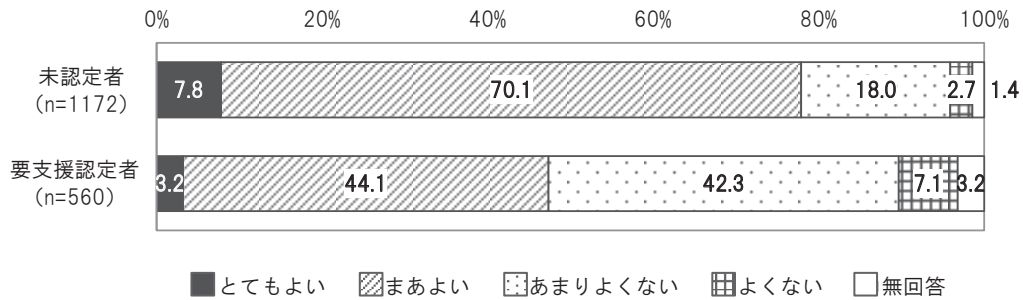
8. 健康について

(1) 主観的健康観《未認定・要支援のみ》

問 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

○主観的健康観は、未認定者・要支援認定者ともに「まあよい」が最も高くなっているものの、「とてもよい」と合わせた『よい』の割合は、未認定者では8割近くを占めているのに対し、要支援認定者では半数未満となっている。

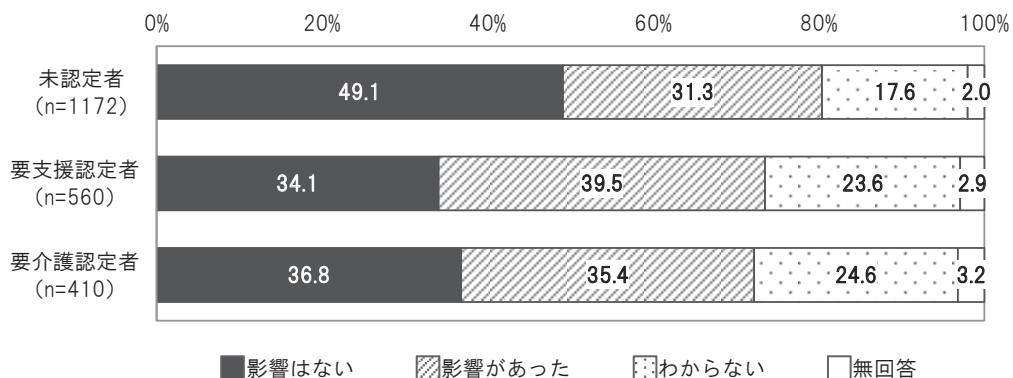
○要支援認定者では「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が約半数を占めている。



(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大での外出自粛等による体力の衰えや健康への影響

問 あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛等によって、体力の衰えや健康への影響があったと感じますか。(1つに○)

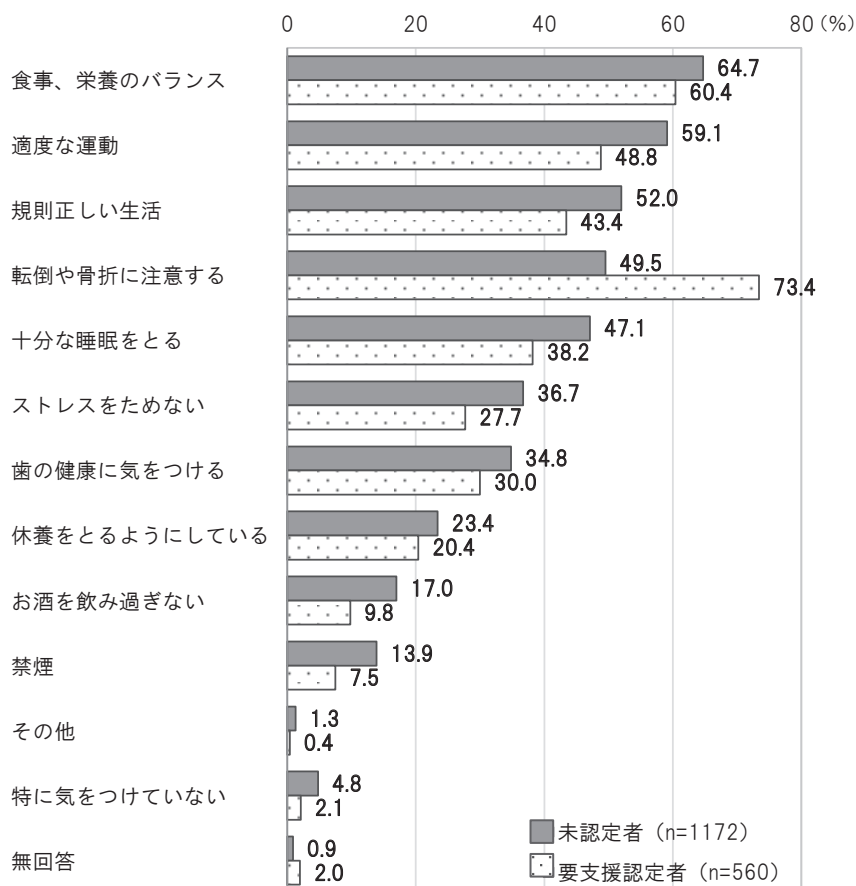
○新型コロナウイルス感染症の感染拡大での外出自粛等による体力の衰えや健康への影響は、未認定者では「影響はない」が約半数を占め、「影響があった」は3割程度となっているのに対し、要支援認定者・要介護認定者では「影響があった」が3割を超え、「影響はない」とほぼ同程度となっている。



(3) 健康に関して気をつけていること《未認定・要支援のみ》

問 あなたは普段健康に関してどのようなことに気をつけていますか。
(あてはまるものすべてに○)

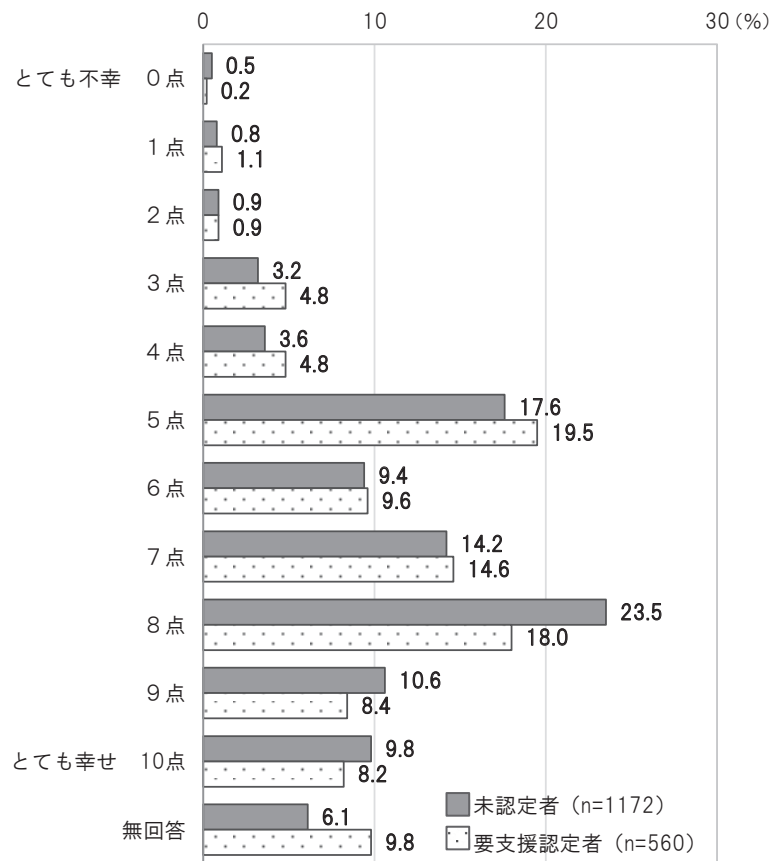
- 健康に関して気をつけていることは、未認定者では「食事、栄養のバランス」が6割を超えて最も高く、次いで「適度な運動」、「規則正しい生活」、「転倒や骨折に注意する」の順となっている。
- 要支援認定者では「転倒や骨折に注意する」が7割を超えて最も高く、その他の項目と比べても突出して高くなっている。



(4) 幸福度《未認定・要支援のみ》

問 あなたは、現在どの程度幸せですか。
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、1つに○)

- 幸福度は、未認定者では「8点」が最も高く、次いで「5点」、「7点」となっており、要支援認定者では「5点」が最も高く、次いで「8点」、「7点」となっている。
- 平均点をみると、未認定者では6.95点、要支援認定者では6.61点と、未認定者の方がやや高くなっている。

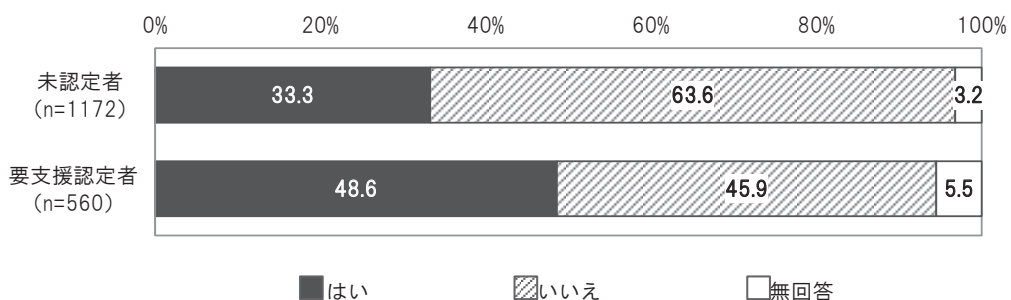


(5) こころの状況《未認定・要支援のみ》

① 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあるか

問 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありますか。
 (○は1つ)

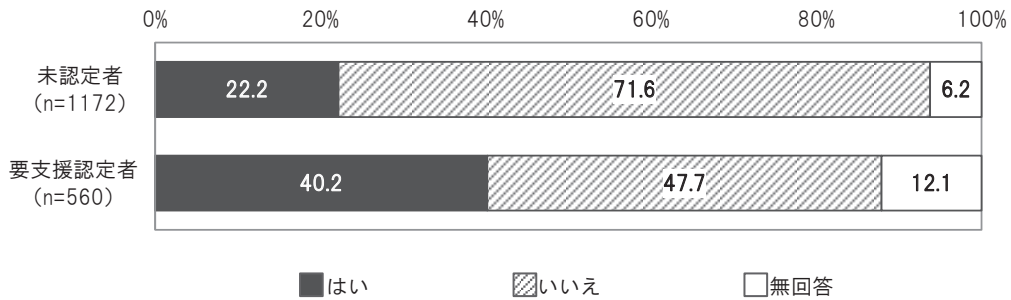
- 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることは、未認定者では「いいえ」が6割を超えているのに対し、要支援認定者では「はい」が半数近くを占め、「いいえ」を上回っている。



② どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあるか

問 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありますか。(○は1つ)

○どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめないと感じることは、未認定者では「いいえ」が7割を超えているのに対し、要支援認定者では「はい」が約4割を占めて高くなっている。

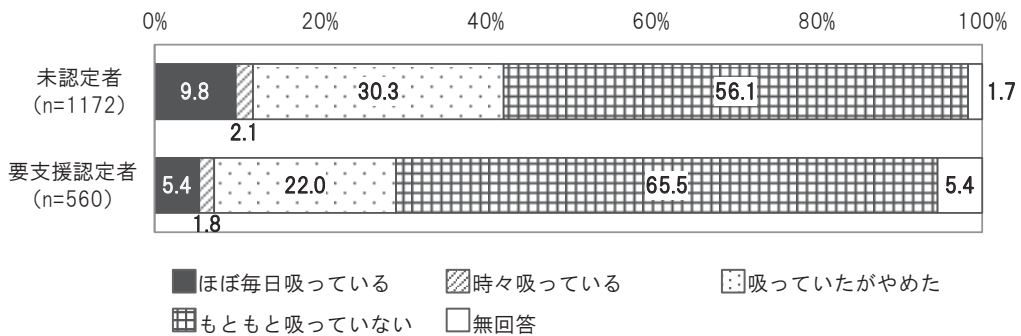


(6) 喫煙状況《未認定・要支援のみ》

問 タバコは吸っていますか。(1つに○)

○喫煙状況は、未認定者・要支援認定者ともに「もともと吸っていない」が半数を超えて高くなっている。

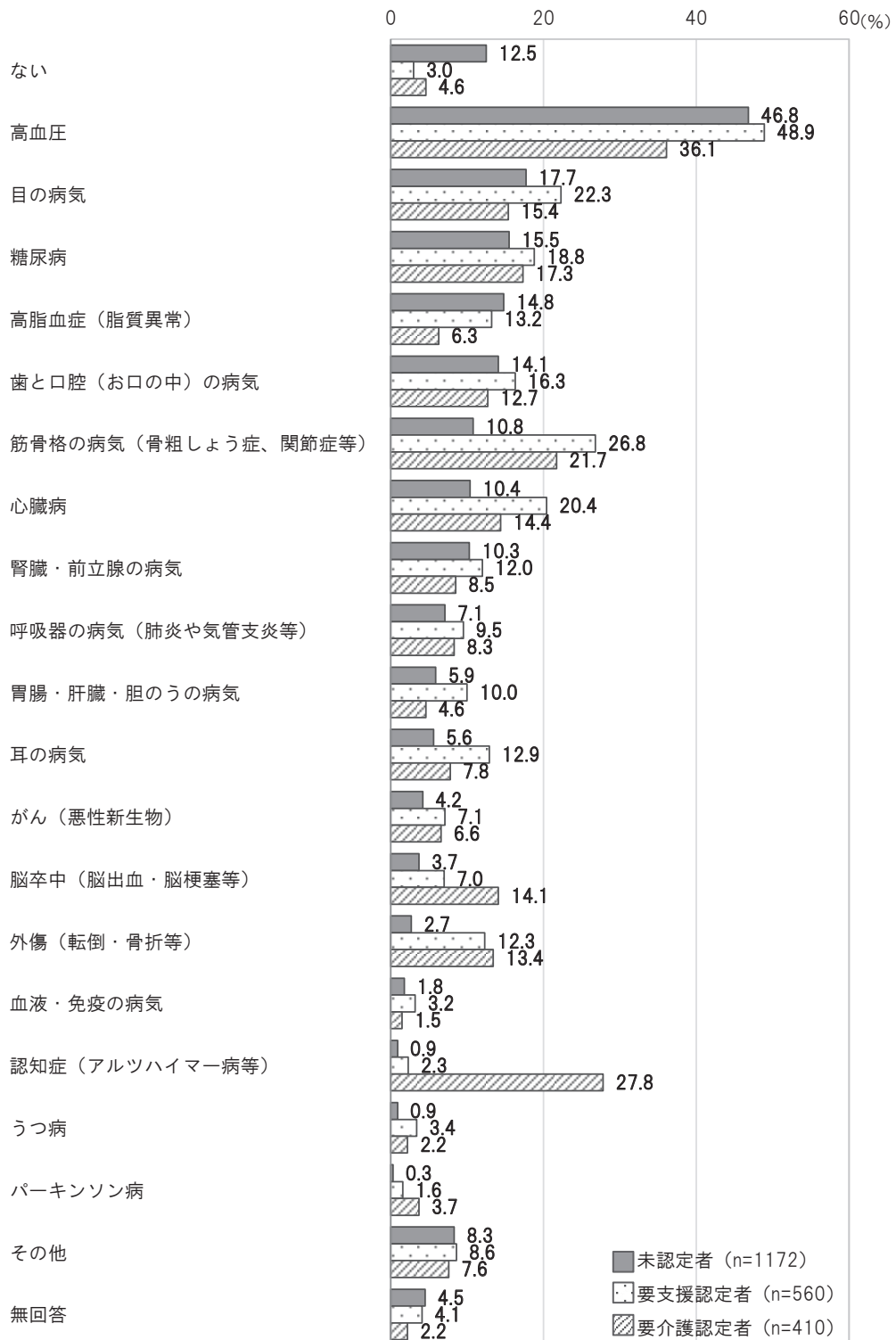
○一方で、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』人の割合をみると、未認定者では1割を超えている。



(7) 現在治療中または後遺症のある病気の有無

問 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

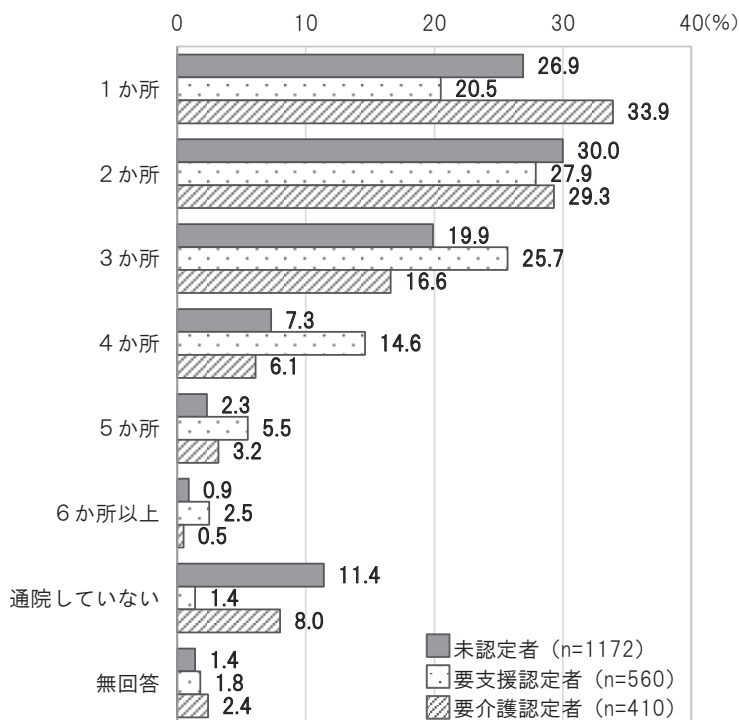
- 現在治療中または後遺症のある病気は、すべての区分で「高血圧」が最も高く、次いで未認定者では「目の病気」、「糖尿病」、「高脂血症（脂質異常）」となっているのに対し、要支援認定者では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、「目の病気」、「心臓病」、要介護認定者では「認知症（アルツハイマー病等）」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」となっている。
- 「ない」が未認定者では1割程度、要支援認定者・要介護認定者では1割未満となっており、要支援認定者・要介護認定者ではほとんど全員が何かしらの病気があることが分かる。



(8) 通院している医療機関数

問 あなたは現在、いくつの病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。（1つに○）

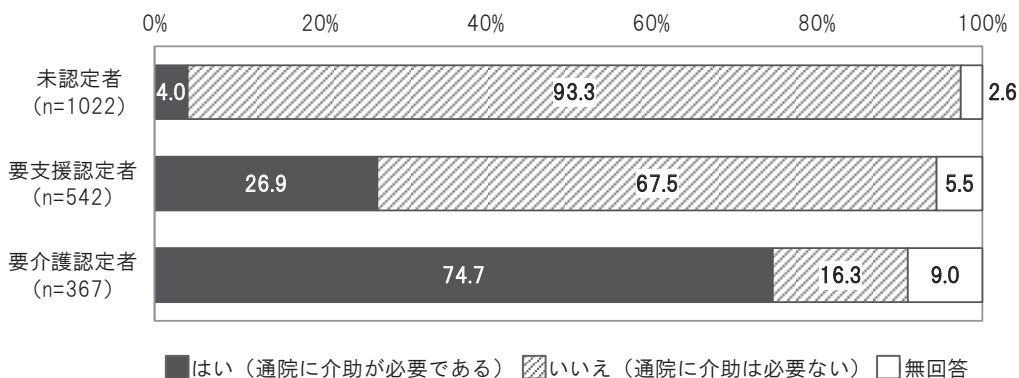
○通院している医療機関数は、未認定者・要支援認定者では「2か所」、要介護認定者では「1か所」が最も高くなっている。また、要支援認定者では「3か所」や「4か所」の回答も高くなっている。



(8-1) 通院への介助の必要性

(8)で「通院していない」と回答した人以外
問 あなたは、通院に介助が必要ですか。（1つに○）

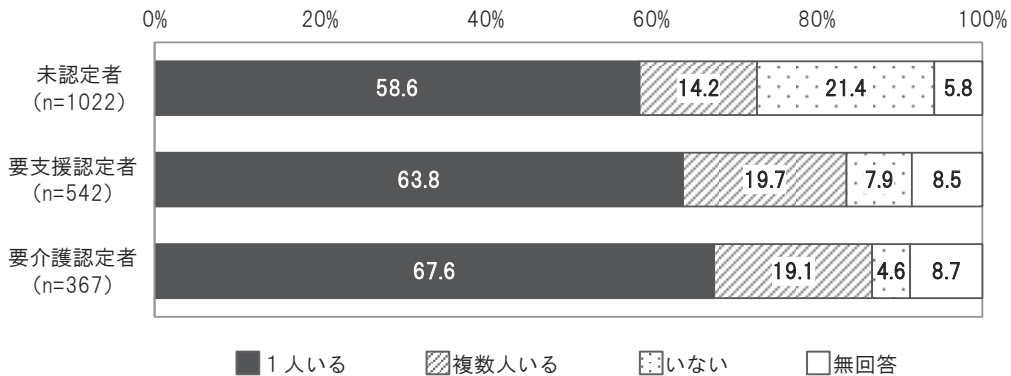
○通院への介助の必要性は、未認定者では「いいえ（通院に介助は必要ない）」が9割を超えており、「はい（通院に介助が必要である）」は1割未満となっているのに対し、要支援認定者では2割以上、要介護認定者では7割以上を占めている。



(8-2) かかりつけ医の有無

(8) で「通院していない」と回答した人以外
 問 通院している病院・医院のうち、安心してなんでも相談できる（例：介護保険の主治医意見書を書いてもらう）お医者さん（かかりつけ医）はいますか。（1つに○）

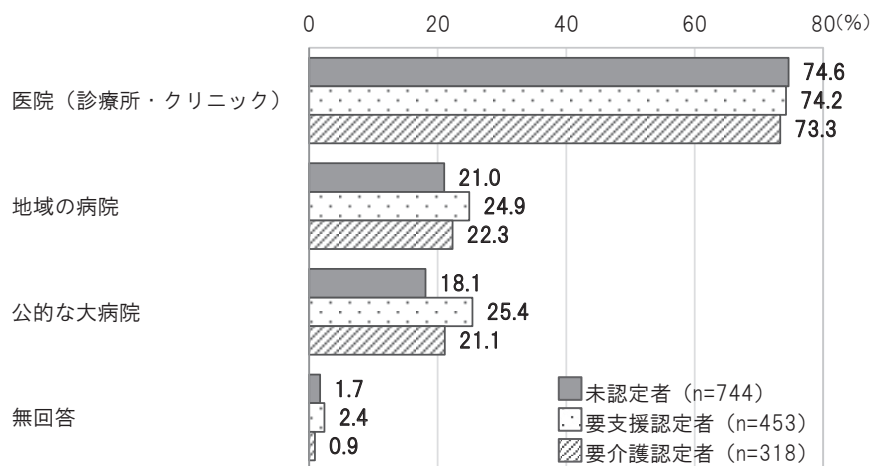
○かかりつけ医の有無は、すべての区分で「1人いる」が最も高く、「複数人いる」と合わせた『いる』の割合は、未認定者では7割以上、要支援認定者・要介護認定者では8割以上を占めている。
 ○また、「いない」が未認定者で2割を超え、要支援認定者・要介護認定者に比べて高くなっている。



(8-2-1) かかりつけの医療機関

(8-2) で「1人いる」または「複数人いる」と回答した人のみ
 問 このかかりつけ医は、どの医療機関ですか。（あてはまるものすべてに○）

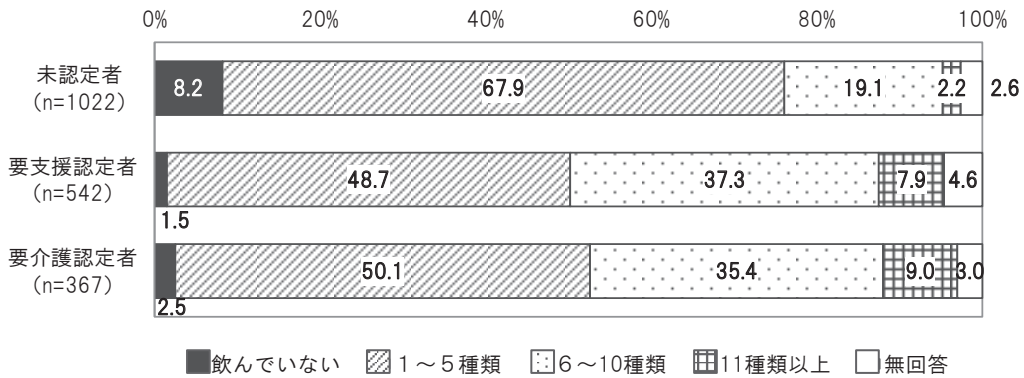
○かかりつけの医療機関は、すべての区分で「医院（診療所・クリニック）」が最も高く、ともに7割以上を占めている。



(8-3) 服薬の種類

(8) で「通院していない」と回答した人以外
 問 あなたが現在飲んでいるお薬は、全部で何種類ありますか。(1つに○)

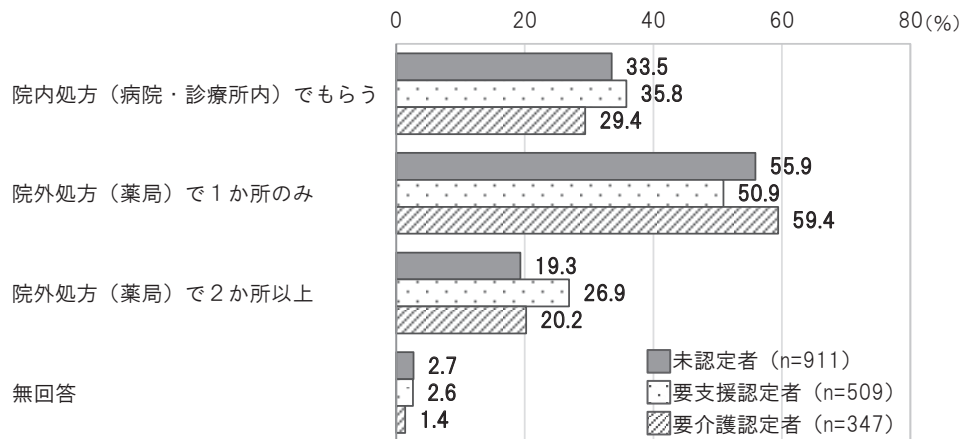
○服薬の種類は、すべての区分で「1～5種類」が最も高くなっているものの、要支援認定者・要介護認定者では「6～10種類」が3割以上、「11種類以上」が1割近くを占めている。



(8-3-1) 医薬品の受け取り先

(8-3) で「飲んでいない」と回答した人以外
 問 何か所（薬局、病院内とも）からお薬をもらっていますか。(あてはまるものすべてに○)

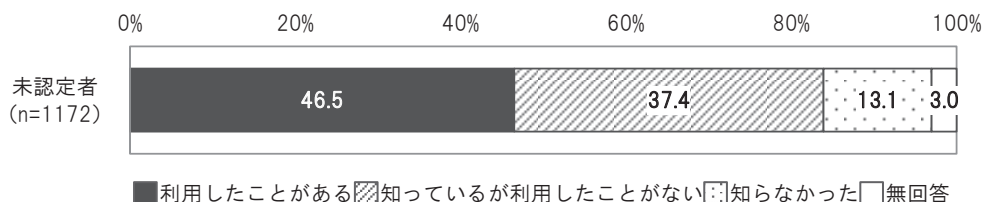
○医薬品の受け取り先は、すべての区分で「院外処方（薬局）で1か所のみ」が最も高く、次いで「院内処方（病院・診療所内）でもらう」となっている。



(9) 特定健診・後期高齢者健康診査・健康相談（市実施）の利用状況《未認定のみ》

問 あなたは、医療保険者が実施する「特定健診」や「後期高齢者健康診査」、市が実施する「健康相談」を利用したことがありますか。（1つに○）

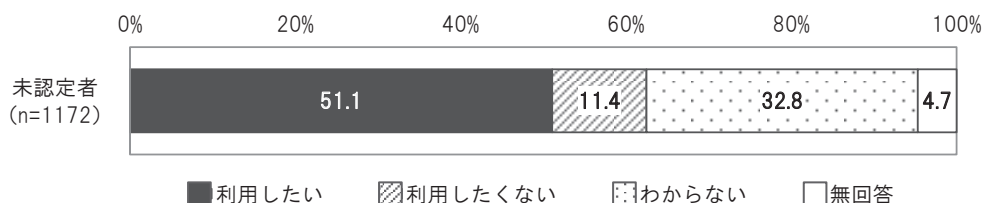
○特定健診等の利用状況は、「利用したことがある」が4割を超えているものの、「知っているが利用したことがない」と「知らなかった」を合わせた『利用していない』が約半数を占めている。



(10) 特定健診・後期高齢者健康診査・健康相談（市実施）の今後の利用意向《未認定のみ》

問 あなたは、医療保険者が実施する「特定健診」や「後期高齢者健康診査」、市が実施する「健康相談」について、今後利用したいと思いますか。（1つに○）

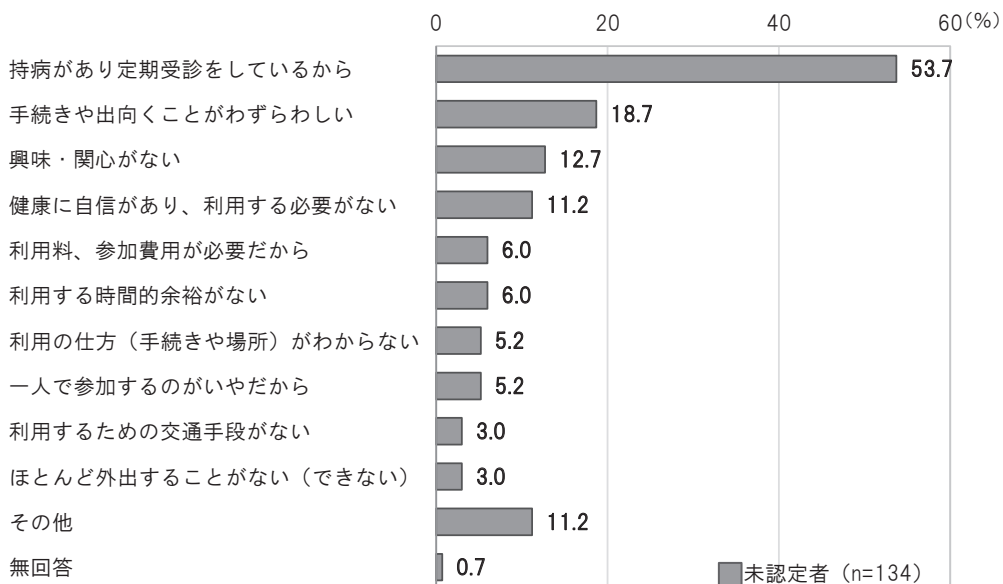
○特定健診等の今後の利用意向は、「利用したい」が半数以上を占めている。



(10-1) 特定健診・後期高齢者健康診査・健康相談（市実施）を利用したくない理由《未認定のみ》

(10) で「利用したくない」と回答した人のみ
 問 「特定健診」や「後期高齢者健康診査」「健康相談」を今後利用したくないと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

○特定健診等を今後利用したくないと思う理由は、「持病があり定期受診をしているから」が半数を超えて最も高く、次いで「手続きや出向くことがわずらわしい」、「興味・関心がない」の順となっている。

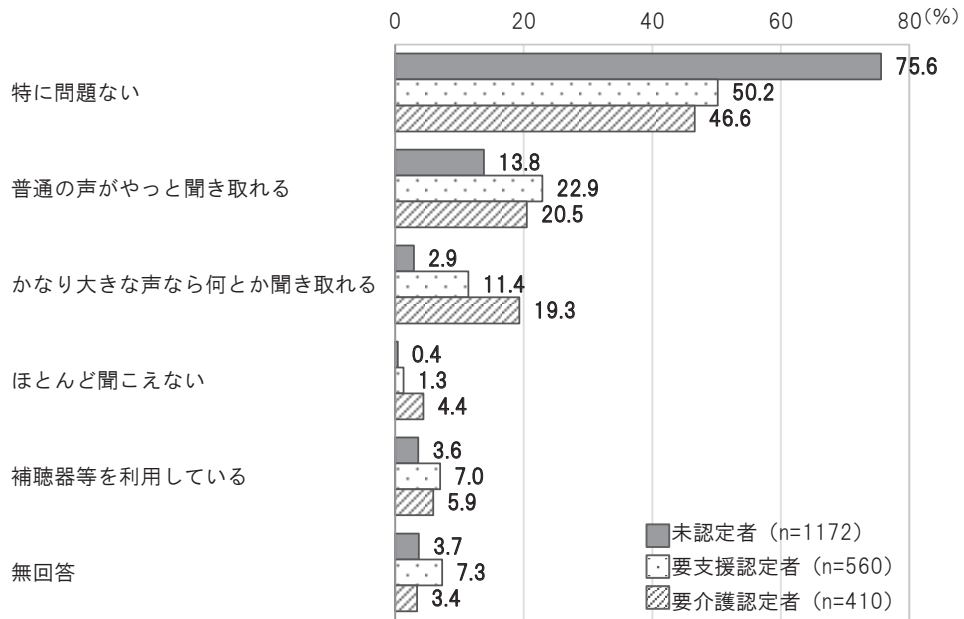


(11) 人の話の聞き取りづらさの有無

問 生活の中で、人の話が聞き取りづらいことがありますか。(1つに○)

○人の話の聞き取りづらさの有無は、すべての区分で「特に問題ない」が最も高くなっているものの、未認定者では7割を超えているのに対し、要支援認定者・要介護認定者では半数程度となっている。

○要支援認定者では「普通の声がやっと聞き取れる」が2割以上、要介護認定者では「普通の声がやっと聞き取れる」及び「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」が約2割を占めている。



《年齢別（未認定者）》

○未認定者での人の話の聞き取りづらさの有無を年齢別にみると、年齢が下がるほど「特に問題ない」が高くなっており、特に65～69歳では約9割を占めているのに対し、85～89歳では約半数、90歳以上では3割未満となっており、85歳を境に耳の聞こえの状況に支障が出ている人が多い結果となっている。

		回答者数 (人)	特に問題ない	普通の声がやっと聞き取れる	かなり大きな声なら何とか聞き取れる	ほとんど聞こえない	補聴器等を利用している	無回答
年代別	65～69歳	235	89.4	7.2	0.9	-	0.9	1.7
	70～74歳	345	79.4	13.9	1.4	0.3	1.2	3.8
	75～79歳	297	73.7	15.5	3.0	-	5.1	2.7
	80～84歳	204	68.1	14.7	5.4	1.0	5.9	4.9
	85～89歳	72	50.0	22.2	8.3	1.4	9.7	8.3
	90歳以上	14	28.6	35.7	7.1	7.1	14.3	7.1

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

《年齢別（要支援認定者・要介護認定者）》

○要支援認定者・要介護認定者での人の話の聞き取りづらさの有無を年齢別にみると、ともに年齢が上がるほど「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」が高くなっており、特に85歳以上では、要支援認定者では1割以上、要介護認定者では2割以上となっています。

○また、要介護認定者では、「ほとんど聞こえない」が90歳以上で1割近くとなっています。

(%)

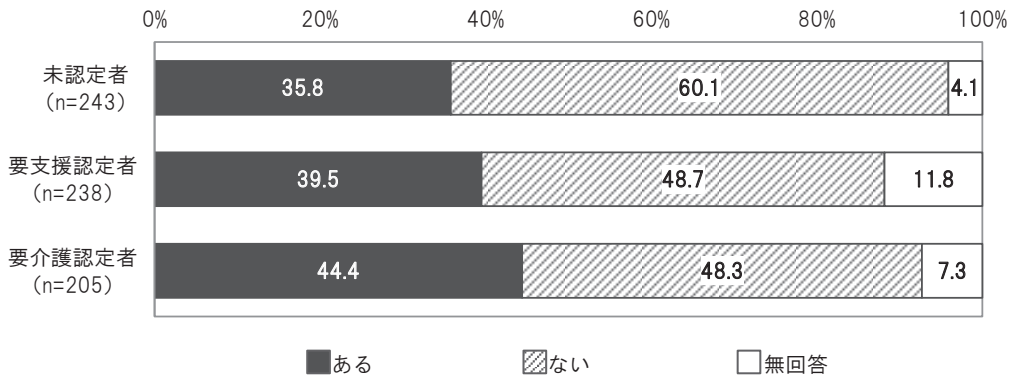
		回答者数 (人)	特に問題ない	普通の声 がやっ と聞き 取れる	かなり 大きな 声なら 何とか 聞き 取れる	ほとん ど聞こ え ない	補聴器 等を利用 している	無回答
要支援 認定者	65～69歳	15	73.3	20.0	-	-	-	6.7
	70～74歳	51	66.7	17.6	5.9	-	-	9.8
	75～79歳	94	58.5	23.4	9.6	2.1	2.1	4.3
	80～84歳	179	46.9	24.6	8.9	0.6	8.9	10.1
	85～89歳	131	49.6	22.1	16.0	0.8	5.3	6.1
	90歳以上	89	34.8	23.6	16.9	3.4	15.7	5.6
要介護 認定者	65～69歳	17	76.5	5.9	-	5.9	-	11.8
	70～74歳	47	63.8	17.0	4.3	6.4	4.3	4.3
	75～79歳	54	66.7	9.3	14.8	-	1.9	7.4
	80～84歳	84	52.4	20.2	17.9	2.4	4.8	2.4
	85～89歳	106	34.9	28.3	23.6	3.8	7.5	1.9
	90歳以上	101	30.7	22.8	27.7	7.9	8.9	2.0

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(11-1) 聞き取りづらさのために外出が嫌になることの有無

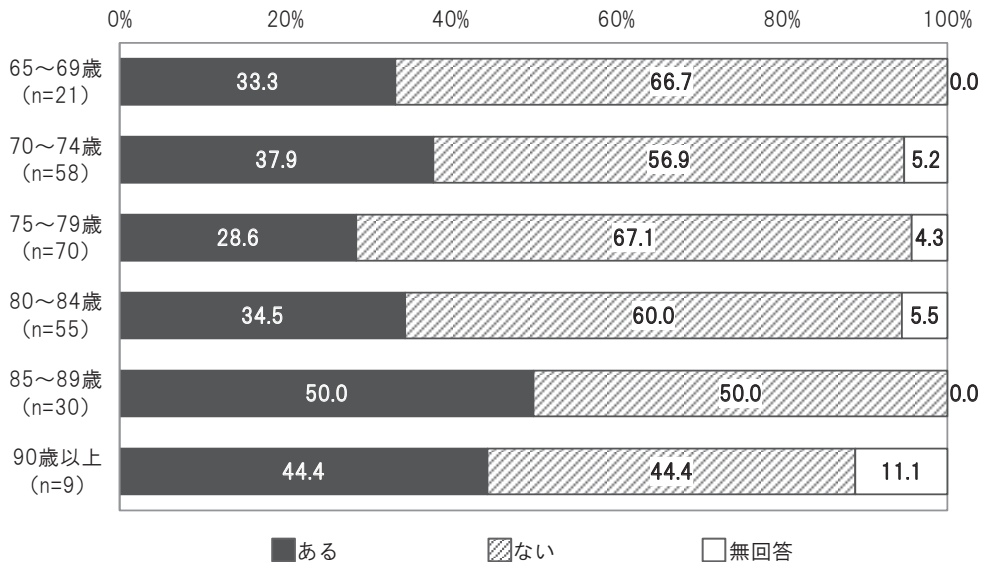
(11) で「特に問題ない」と回答した人以外
 問 人の話が聞き取りづらいことで、外出の頻度が減ったり、人と話すことが嫌になることはありますか。(1つに○)

○聞き取りづらさのために外出が嫌になることは、すべての区分で「ない」が「ある」を上回っているものの、介護度が高くなるほど「ある」が高くなっており、要介護認定者では4割以上を占めている。



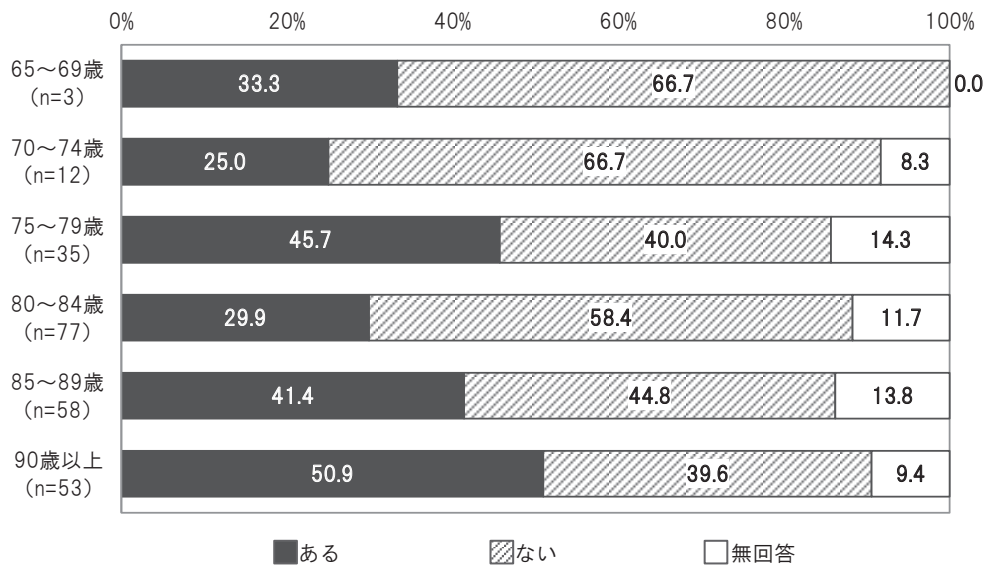
《年齢別（未認定者）》

○未認定者での聞き取りづらさのために外出が嫌になることの有無を年齢別にみると、85～89歳で「ある」が約半数を占めて最も高くなっている。



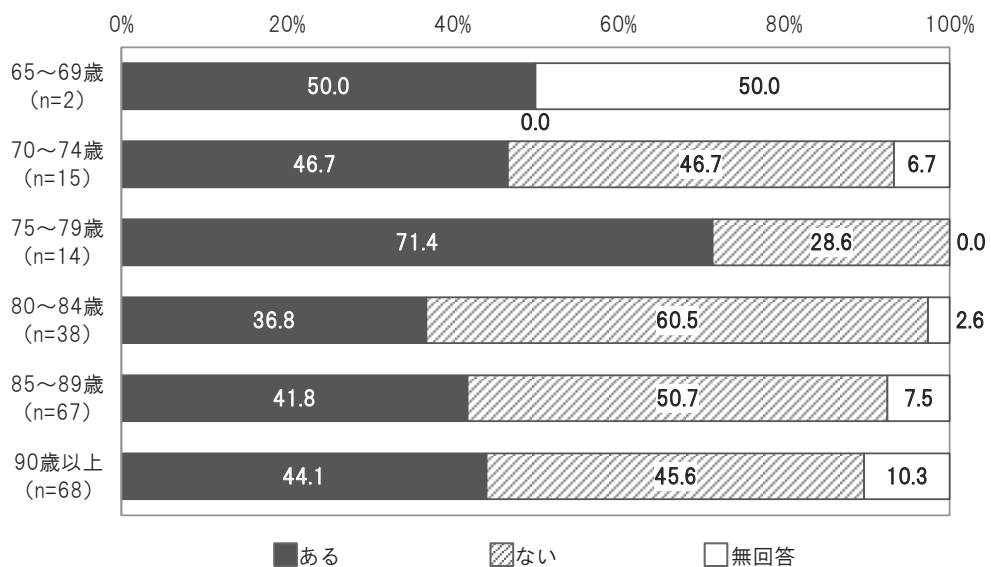
《年齢別（要支援認定者）》

○要支援認定者での聞き取りづらさのために外出が嫌になることの有無を年齢別にみると、90歳以上で約半数、75～79歳・85～89歳で4割以上と高くなっているものの、概ね年齢が上がるにつれて「ある」が高くなる傾向がみられる。



《年齢別（要介護認定者）》

○要介護認定者での聞き取りづらさのために外出が嫌になることの有無を年齢別にみると、75～79歳で「ある」が7割を超えて最も高くなっている。

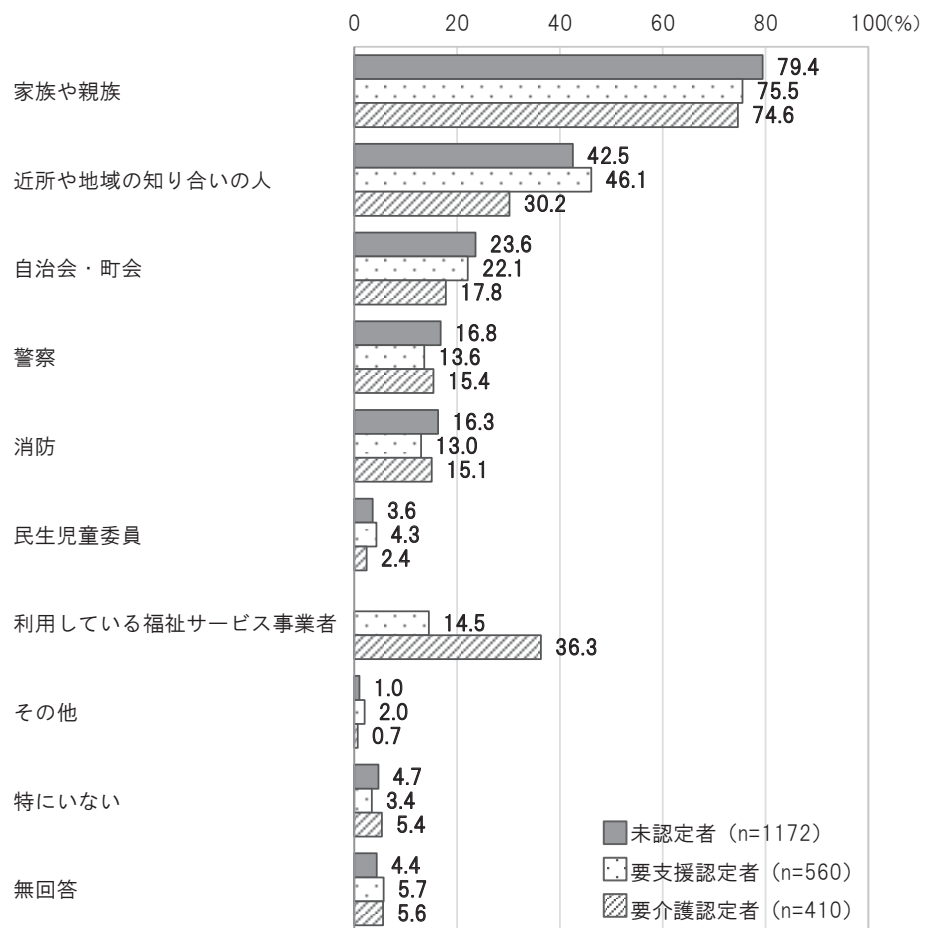


9. 災害時や緊急時の対応などについて

(1) 災害時の避難に際して安否確認等の声かけをしてもらいたいと思う人

問 あなたが災害時の避難に際して、安否確認等の声かけをしてもらいたいと思う人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

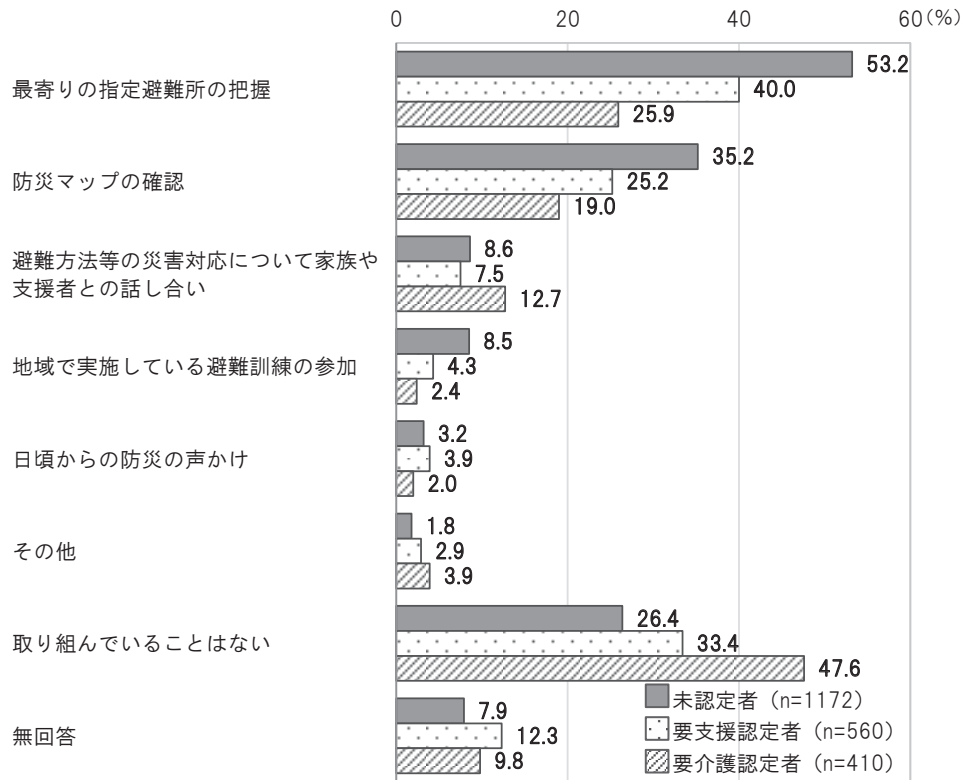
○災害時の避難に際して安否確認等の声かけをしてもらいたいと思う人は、すべての区分で「家族や親族」が最も高く、次いで、未認定者・要支援認定者では「近所や地域の知り合いの人」、要介護認定者では「利用している福祉サービス事業者」となっている。



(2) 災害に備えて日頃から取り組んでいること

問 地震や台風などの災害に備えて、あなたが日頃から取り組んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 災害に備えて日頃から取り組んでいることは、未認定者・要支援認定者では「最寄りの指定避難所の把握」が最も高く、次いで「防災マップの確認」となっている。
- 介護度が高くなるほど「取り組んでいることはない」が高くなる傾向がみられ、要介護認定者では半数近くを占めている。



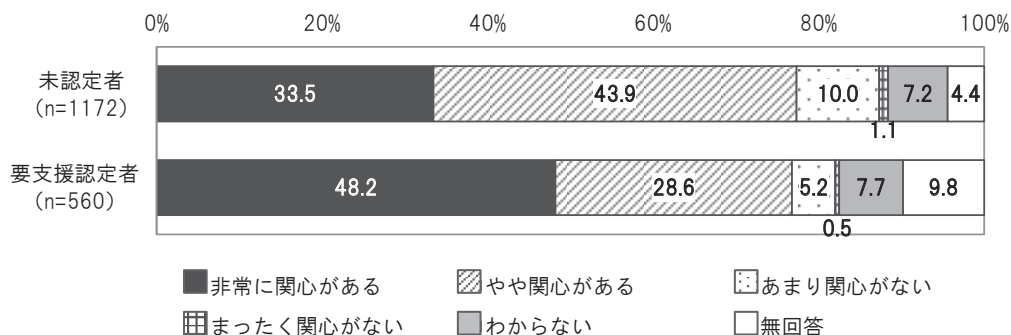
10. 高齢者に対するサービスについて

(1) 介護予防への関心度《未認定・要支援のみ》

問 あなたは介護予防（介護が必要な状態にならないように予防すること、もしくは要介護度が重くならないように予防すること）に関心がありますか。（1つに○）

○介護予防への関心度は、「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合わせた『関心がある』が未認定者・要支援認定者ともに8割近くを占めている。

○また、未認定者では「やや関心がある」が最も高くなっているのに対し、要支援認定者では「非常に関心がある」が半数近くを占めて高くなっている。

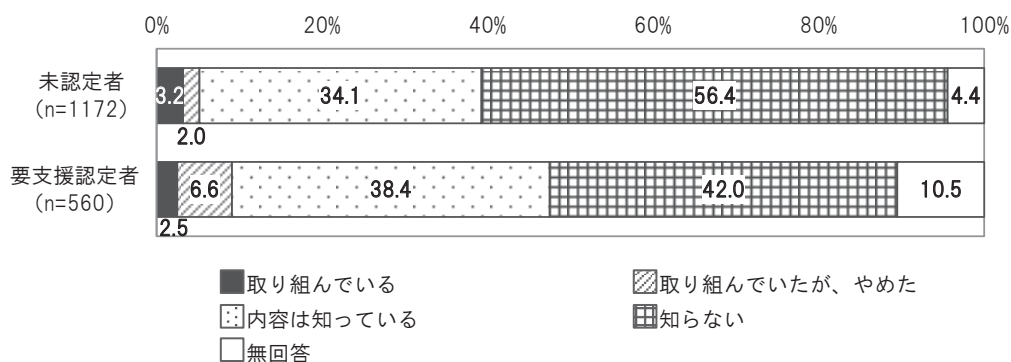


(2) 「尼崎市いきいき 100 万歩運動」の認知度《未認定・要支援のみ》

問 本市では、個々のウォーキングを推奨する「尼崎市いきいき 100 万歩運動」に取り組んでいますが、あなたはこのことを知っていますか。（1つに○）

○“尼崎市いきいき 100 万歩運動”の認知度は、未認定者・要支援認定者ともに「知らない」が最も高く、「内容は知っている」と合わせた『取り組んでいない』が大半を占めている。

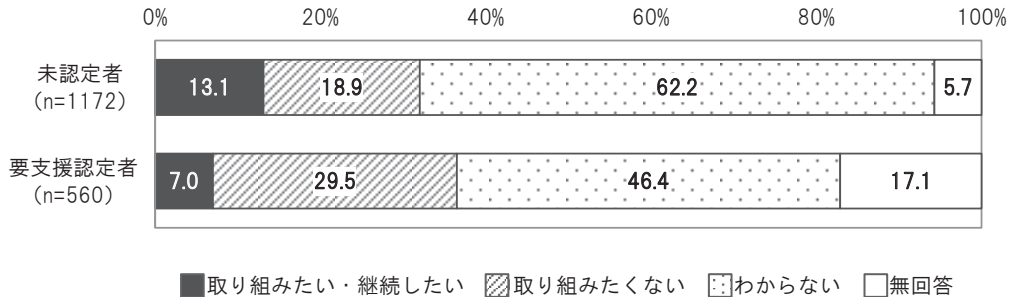
○「取り組んでいる」の割合をみると、未認定者・要支援認定者ともに5%未満となっている。



(3) 「尼崎市いきいき 100 万歩運動」への今後の取組意向《未認定・要支援のみ》

問 「尼崎市いきいき 100 万歩運動」に今後取り組みたいと思いますか。(1つに○)

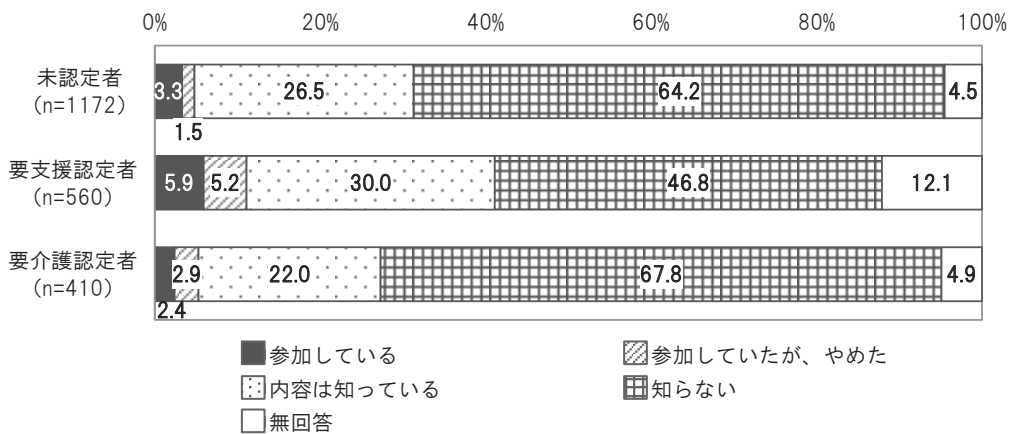
○ “尼崎市いきいき 100 万歩運動” への今後の取組意向は、「取り組みたい・継続したい」が未認定者では1割以上、要支援認定者では1割近くとなっている。



(4) 「いきいき百歳体操」の認知度

問 本市では、みんなで集まって体操する「いきいき百歳体操」に取り組んでいます。あなたはこのことを知っていますか。(1つに○)

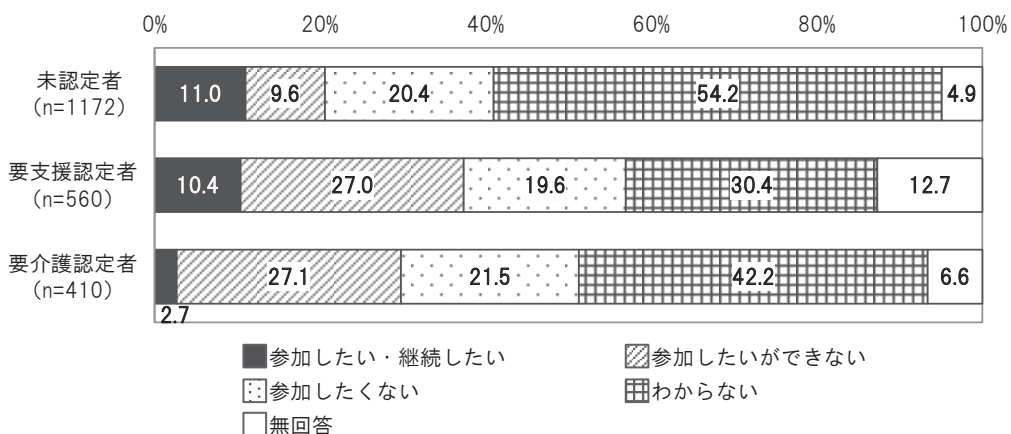
○ “いきいき百歳体操” の認知度は、すべての区分で「知らない」が最も高く、「内容は知っている」と合わせた『取り組んでいない』が大半を占め、「参加している」は1割未満となっている。



(5) 「いきいき百歳体操」への今後の取組意向

問 「いきいき百歳体操」に今後取り組みたいと思いますか。(1つに○)

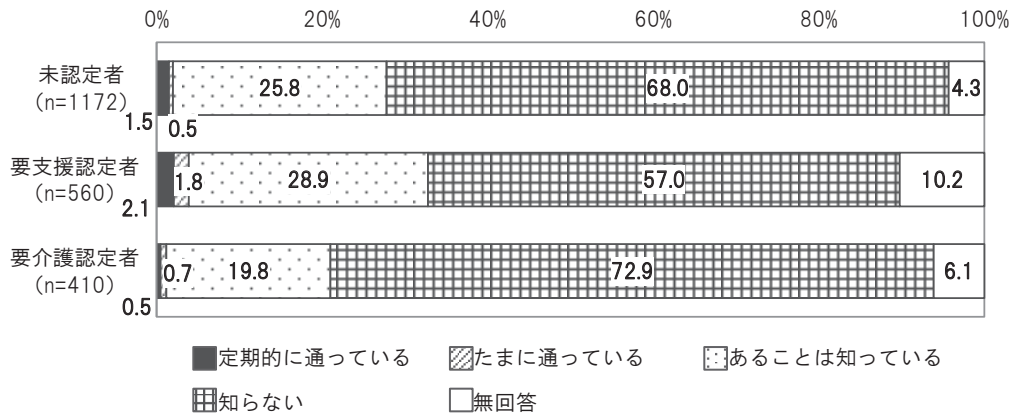
○ “いきいき百歳体操” への今後の取組意向は、未認定者・要支援認定者では「参加したい・継続したい」が約1割となっている。



(6) 「高齢者ふれあいサロン」の認知度

問 本市では、高齢者が集まって茶話会や交流をする「高齢者ふれあいサロン」を設けていますが、あなたはこのことを知っていますか。(1つに○)

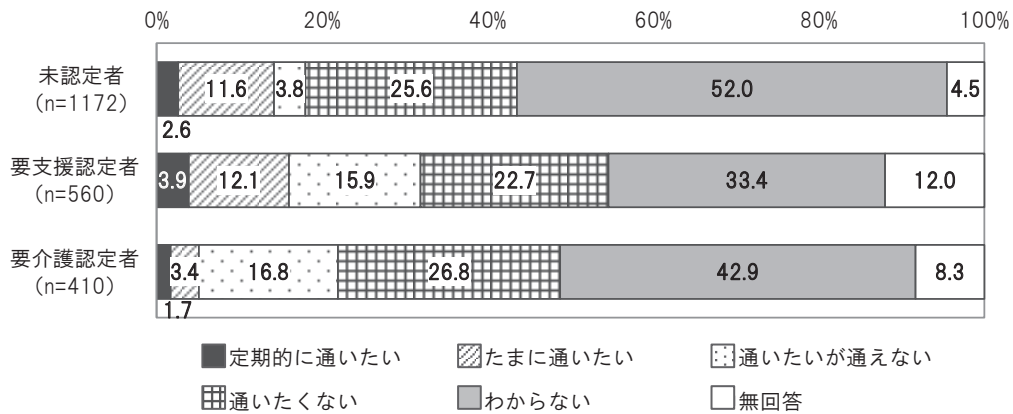
○ “高齢者ふれあいサロン”の認知度は、すべての区分で「知らない」が最も高く、「あることは知っている」と合わせた『通っていない』が大半を占め、「通っている」は1割未満となっている。



(7) 「高齢者ふれあいサロン」への今後の参加意向

問 「高齢者ふれあいサロン」に今後立ち寄ってみたいと思いますか。(1つに○)

○ “高齢者ふれあいサロン”への今後の参加意向は、未認定者・要支援認定者では「定期的に通いたい」と「たまに通いたい」を合わせた『通いたい』がともに1割を超えている。

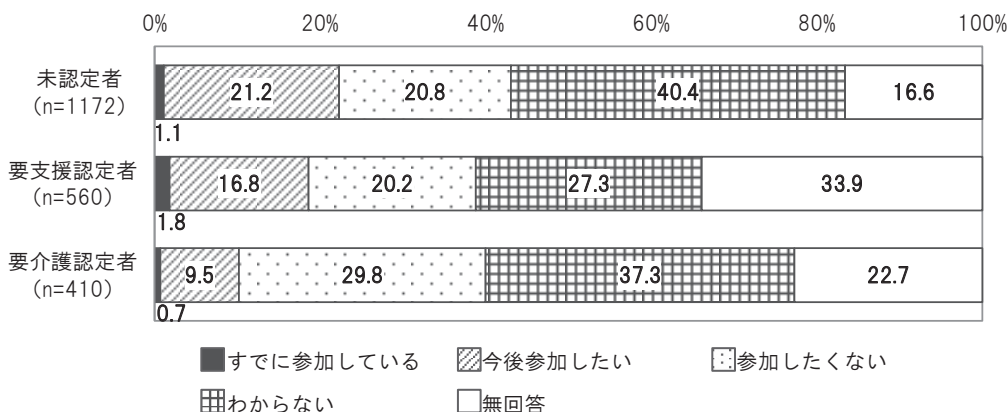


(8) 健康を維持・増進するための教室や講座への参加意向

問 健康を維持、増進するための次のような教室や講座がありますが、参加したいと思いますか。
(各教室、1つに○)

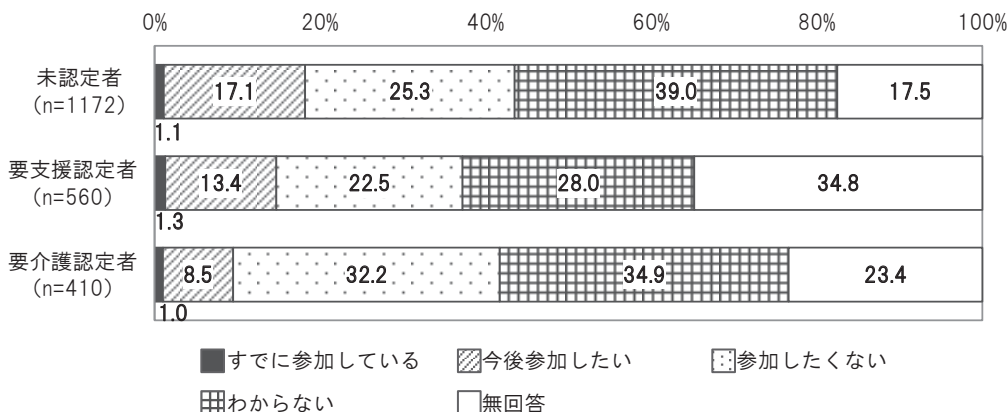
① 生活習慣病を予防するための教室

○生活習慣病を予防するための教室への参加意向は、「すでに参加している」と「今後参加したい」を合わせた『参加したい』が未認定者では2割以上、要支援認定者では2割近く、要介護認定者では約1割となっている。



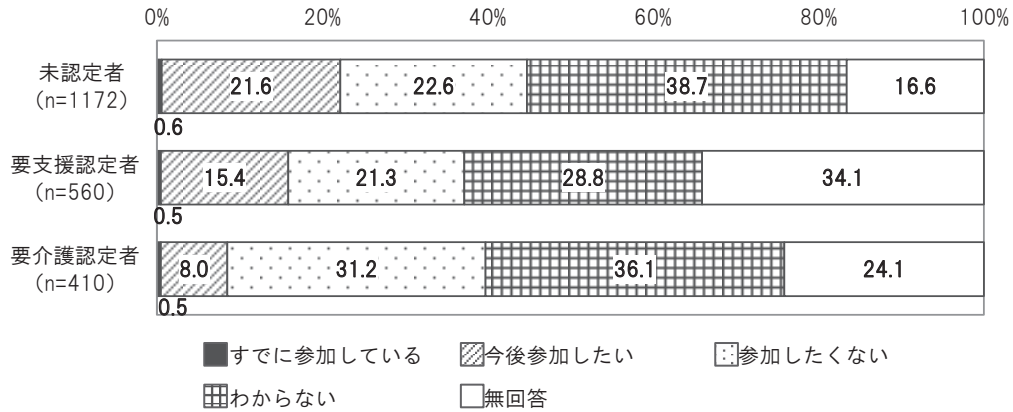
② 健康な歯や歯ぐきを維持するための教室

○健康な歯や歯ぐきを維持するための教室への参加意向は、『参加したい』が未認定者では2割近く、要支援認定者では1割以上、要介護認定者では約1割となっている。



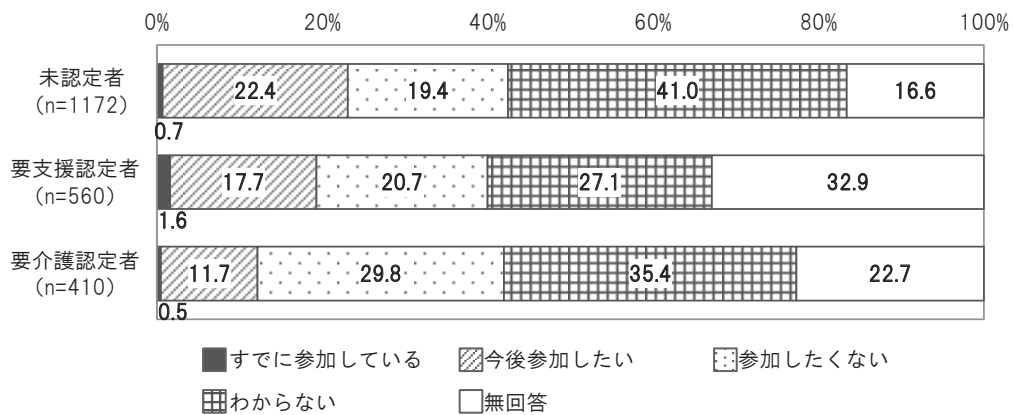
③ 食生活を改善するための教室

○食生活を改善するための教室への参加意向は、「すでに参加している」と「今後参加したい」を合わせた『参加したい』が未認定者では2割以上、要支援認定者では2割近く、要介護認定者では1割近くとなっている。



④ 介護予防のための教室・講座

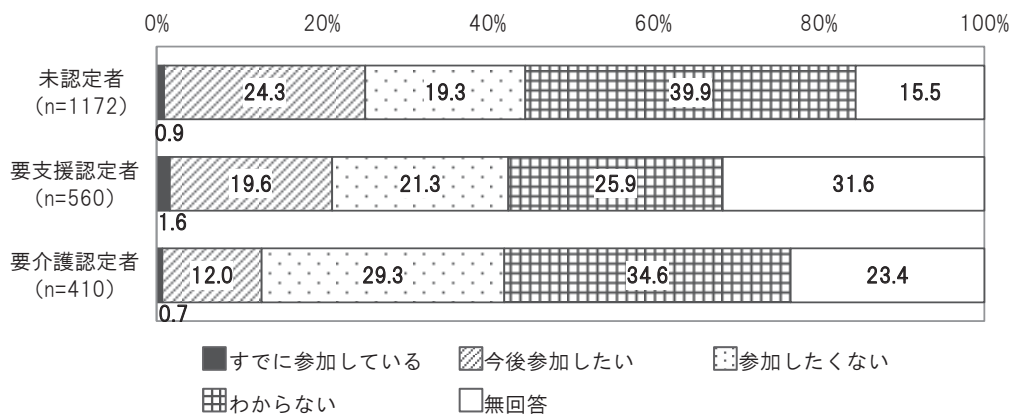
○介護予防のための教室・講座への参加意向は、『参加したい』が未認定者では2割以上、要支援認定者では約2割、要介護認定者では1割以上となっている。



⑤ 認知症に関する教室・講座

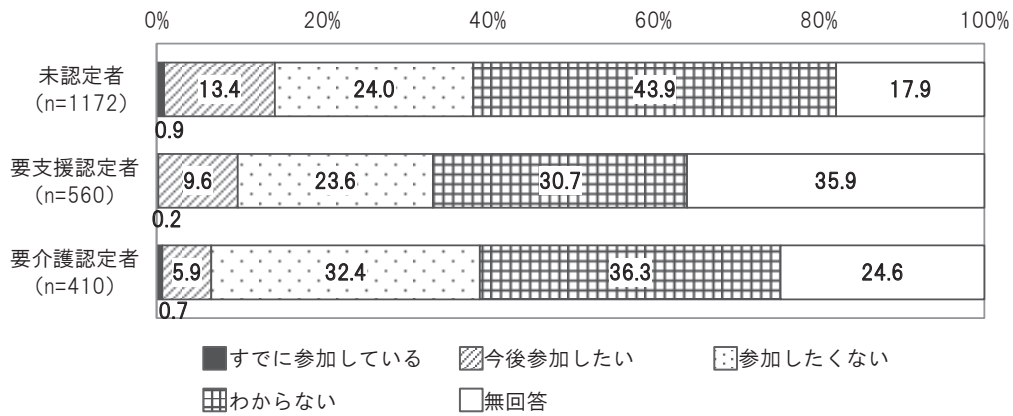
○認知症に関する教室・講座への参加意向は、『参加したい』が未認定者・要支援認定者では2割以上、要介護認定者では1割以上となっている。

○①～⑦の教室や講座の中で最も参加意向が高くなっている。



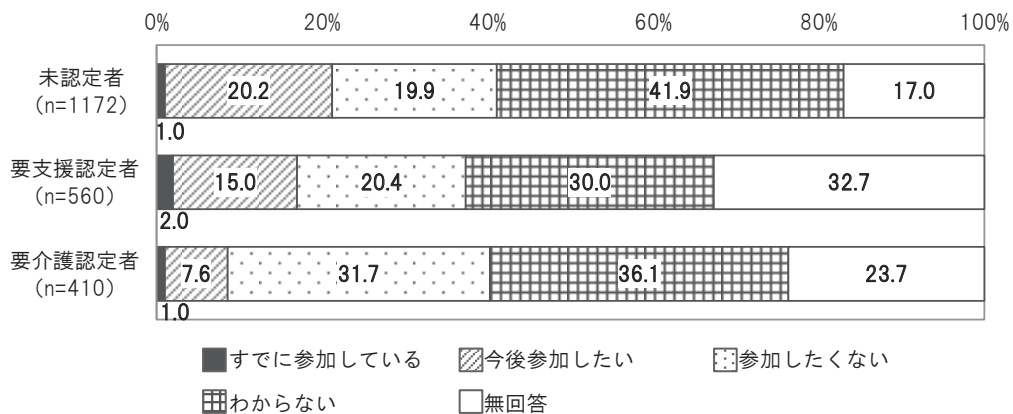
⑥ 民間事業者による文化教室

○民間事業者による文化教室への参加意向は、「すでに参加している」と「今後参加したい」を合わせた『参加したい』が未認定者では1割以上、要支援認定者では約1割となっている。



⑦ 地域で行われている健康維持のための活動・講座

○地域で行われている健康維持のための活動・講座への参加意向は、『参加したい』が未認定者では2割以上、要支援認定者では2割近く、要介護認定者では1割近くとなっている。



(8-1) 健康を維持・増進するための教室や講座に参加したくないと思う理由

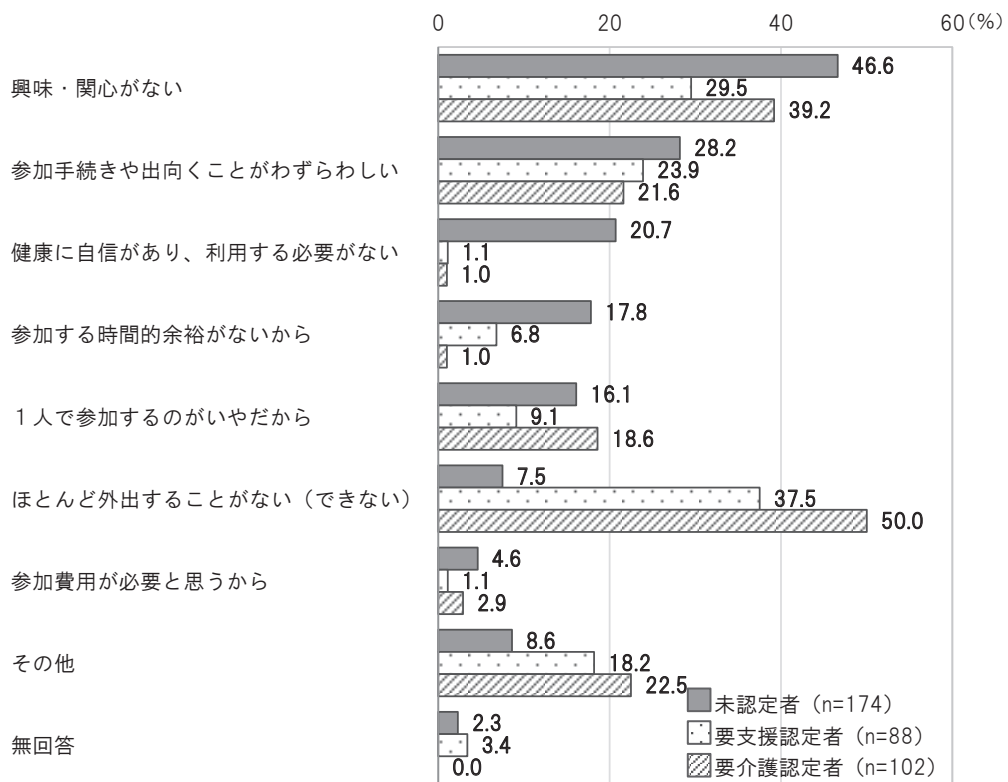
(8) ですべてに「参加したくない」と回答した人のみ

問 健康を維持、増進するための教室・講座に参加したくないと思う理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

○健康を維持・増進するための教室や講座に参加したくない理由は、未認定者では「興味・関心がない」が最も高く、次いで「参加手続きや出向くことがわずらわしい」、「健康に自信があり、利用する必要がない」の順となっている。

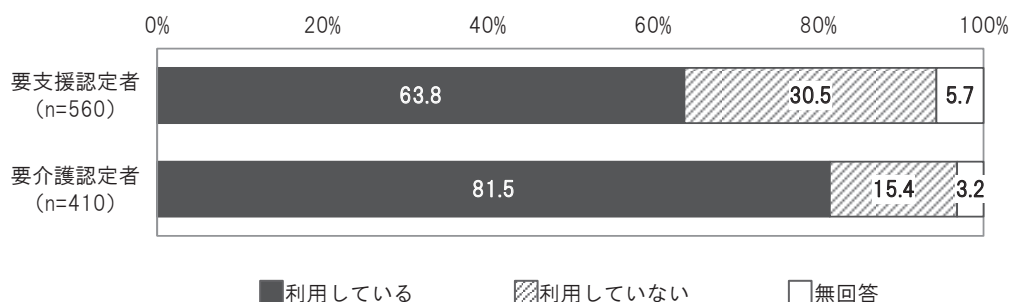
○要支援認定者・要介護認定者では「ほとんど外出することがない(できない)」が最も高くなっている。



(9) 介護保険サービスの利用状況《要支援・要介護のみ》

問 あなたは、現在介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

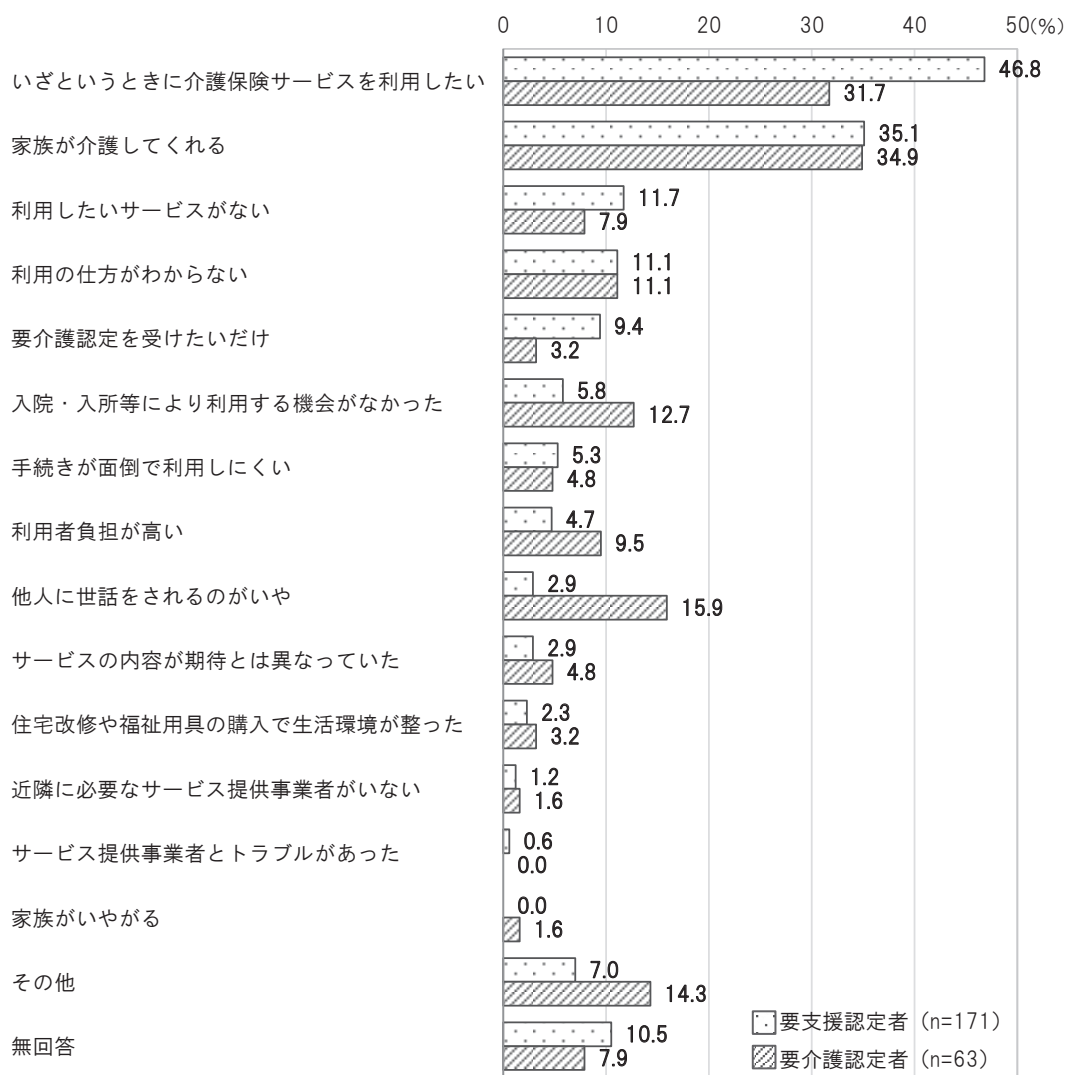
○介護保険サービスの利用状況は、要支援認定者・要介護認定者ともに「利用している」が「利用していない」を上回っており、特に要介護認定者では利用率が8割を超えている。



(9-1) 介護保険サービスを利用していない理由《要支援・要介護のみ》

(9) で「利用していない」と回答した人のみ
 問 現在、介護保険の居宅サービスを利用していない主な理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

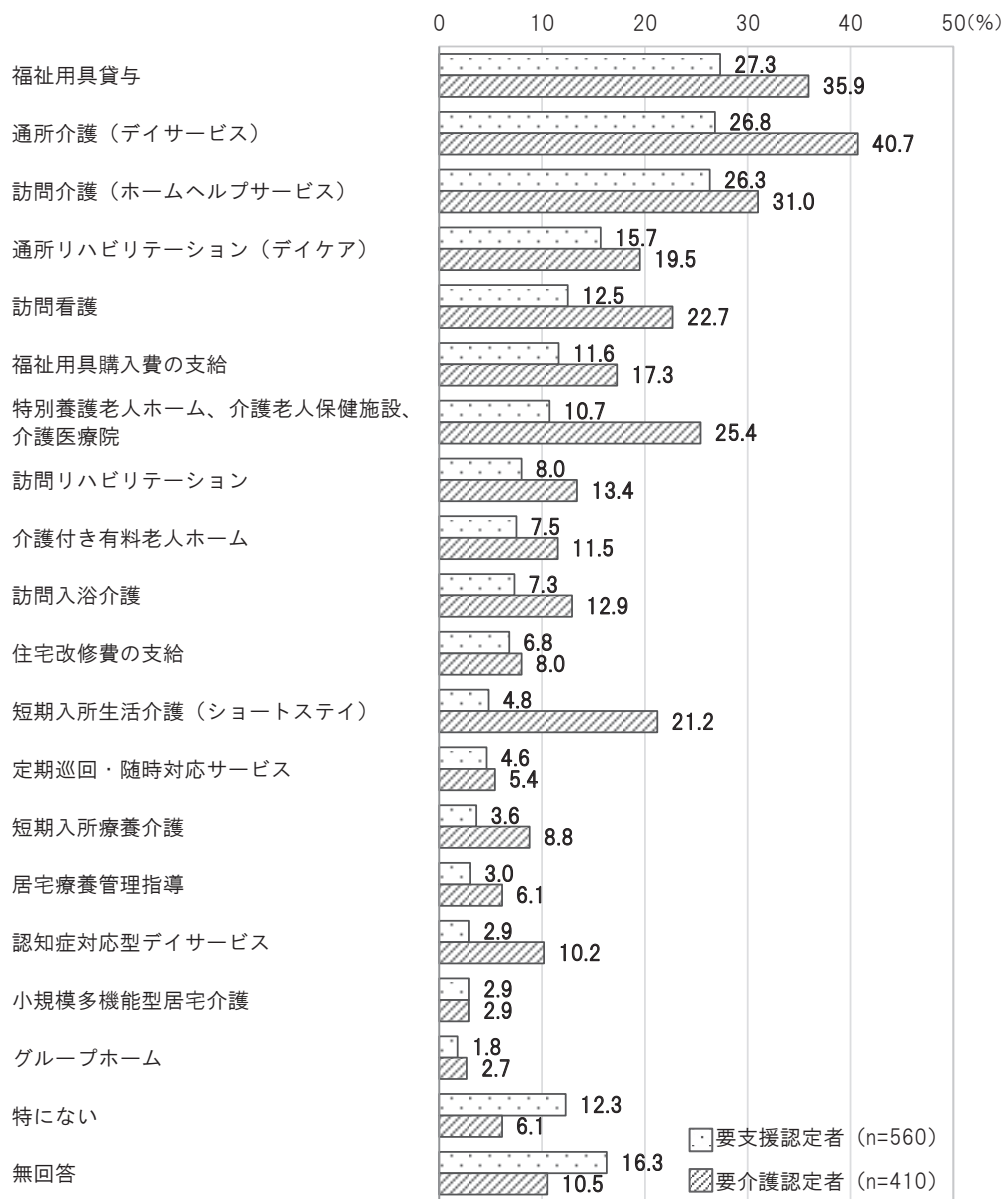
- 介護保険サービスを利用していない理由は、要支援認定者では「いざというときに介護保険サービスを利用したい」、要介護認定者では「家族が介護してくれる」が最も高くなっている。
- その他、要支援認定者では「利用したいサービスがない」や「要介護認定を受けたいだけ」が要介護認定者に比べて高く、要介護認定者では「入院・入所等により利用する機会がなかった」や「利用者負担が高い」、「他人に世話をされるのがいや」などで要支援認定者に比べて高くなっている。



(10) 今後利用したい介護保険サービス《要支援・要介護のみ》

問 今後、何らかの介護保険サービスを利用したいと思いますか。継続して利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

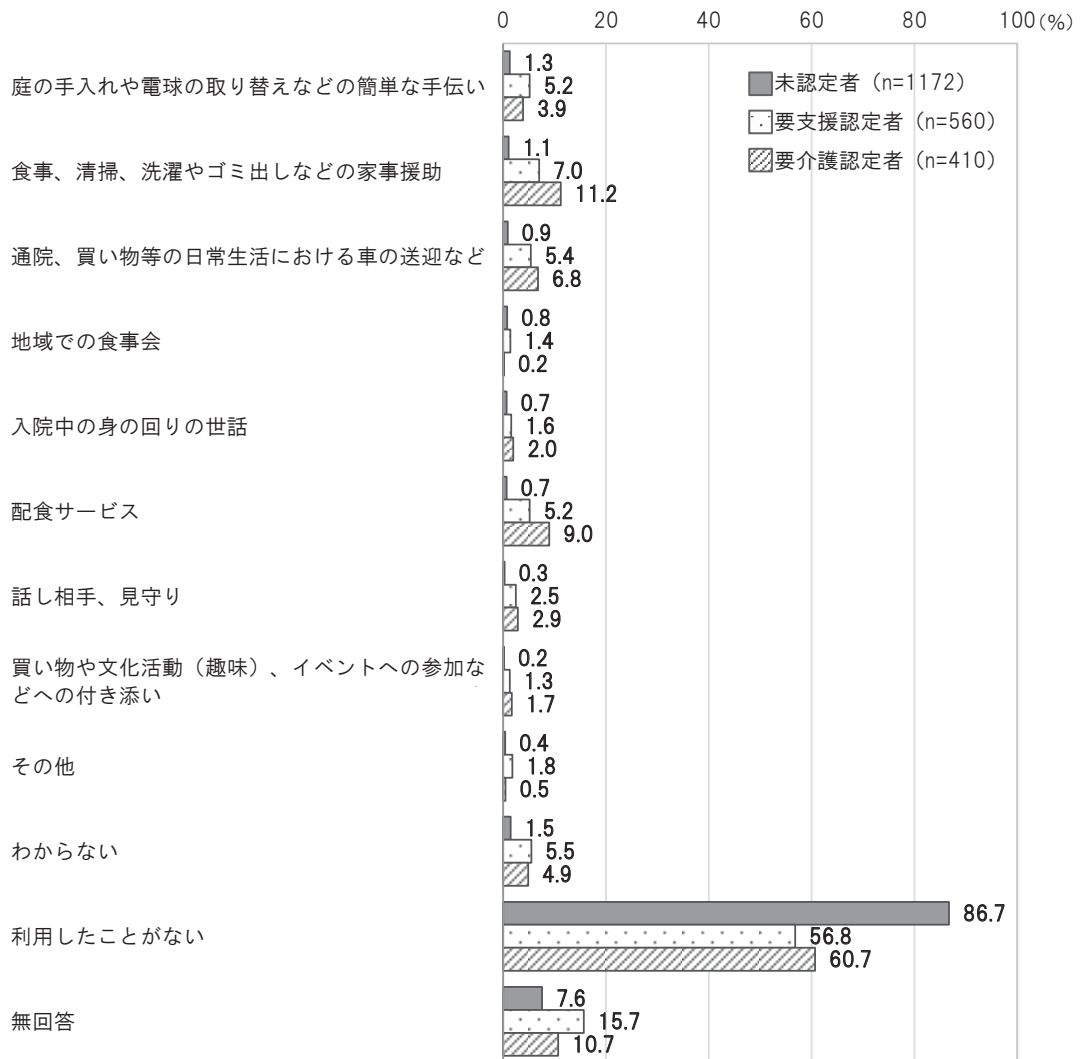
- 今後利用したい介護保険サービスは、要支援認定者では「福祉用具貸与」が最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」の順となっている。
- 要介護認定者では、「通所介護（デイサービス）」が最も高く、次いで「福祉用具貸与」、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」の順となっている。
- また、すべての項目で要支援認定者に比べて要介護認定者の割合が高く、特に「通所介護（デイサービス）」や「訪問看護」、「特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院」、「短期入所生活介護（ショートステイ）」ではその差が大きい。



(11) 介護保険サービス以外で利用したことがあるサービス

問 あなたは、介護保険のサービス以外で、次のサービスを利用したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

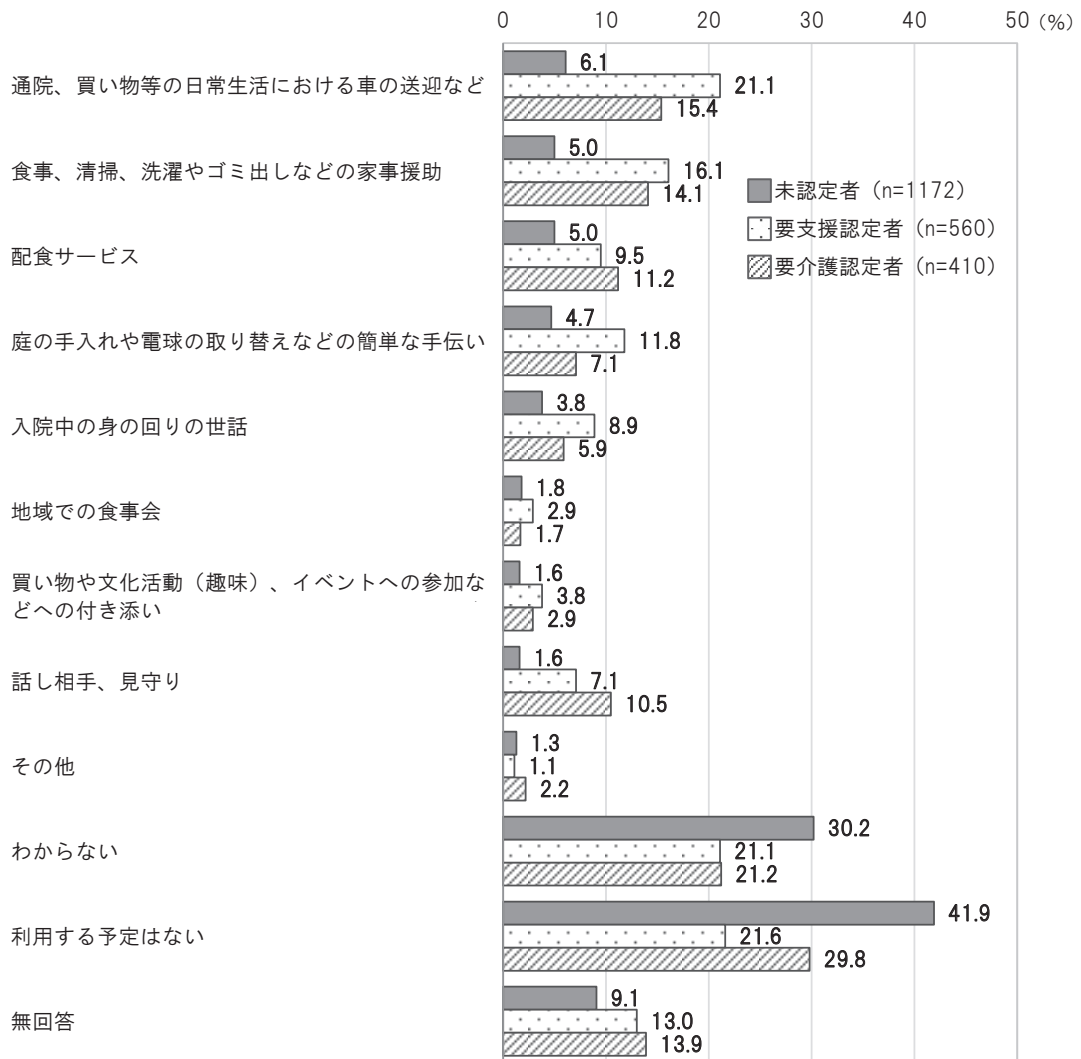
- 介護保険サービス以外で利用したことがあるサービスは、すべての区分で「利用したことがない」が最も高く、特に未認定者では8割を超えて高くなっている。
- 要支援認定者・要介護認定者では3割程度の利用があり、その中でも「食事、清掃、洗濯やゴミ出しなどの家事援助」が最も高く、次いで「配食サービス」、「通院、買い物等の日常生活における車の送迎など」の順となっている。



(12) 介護保険サービス以外で今後利用したいサービス

問 あなたは、介護保険のサービス以外で、今後利用したいサービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

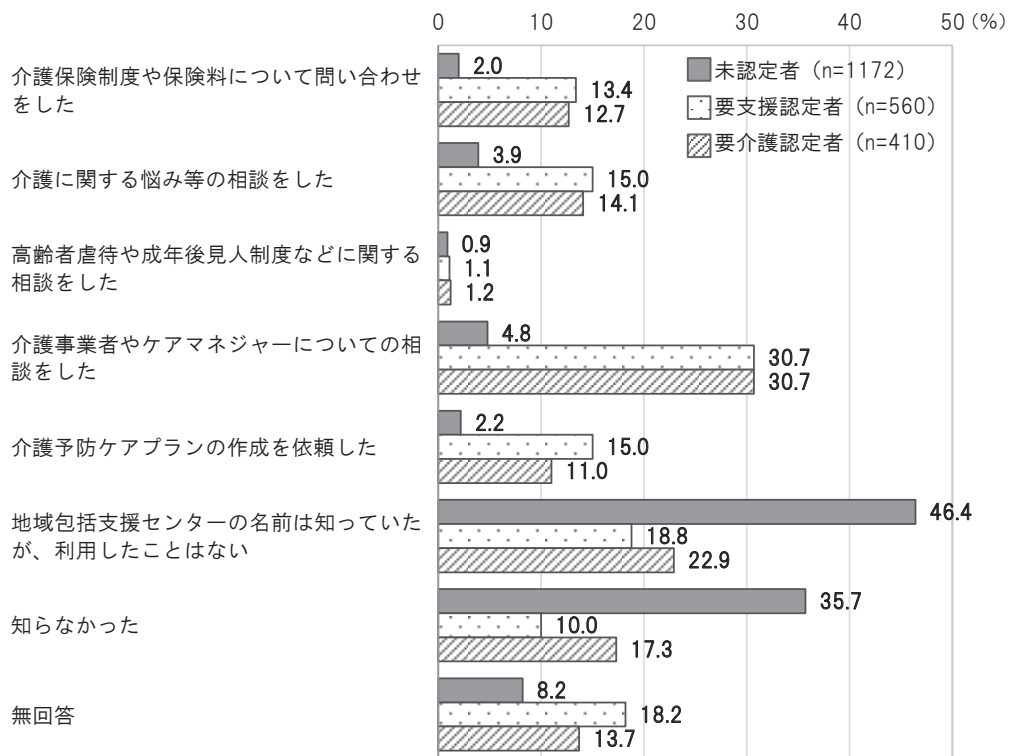
- 介護保険サービス以外で今後利用したいサービスは、未認定者・要介護認定者では「利用する予定はない」が最も高く、特に未認定者では4割を超えて高くなっている。
- 要支援認定者・要介護認定者では半数程度の利用意向があり、その中でも「通院、買い物等の日常生活における車の送迎など」が最も高く、次いで「食事、清掃、洗濯やゴミ出しなどの家事援助」、「配食サービス」、「庭の手入れや電球の取り替えなどの簡単な手伝い」の順となっている。



(13) 地域包括支援センターの利用の有無

問 あなたは高齢者の介護や健康などについて相談できる「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。もしくは、知っていましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 地域包括支援センターの利用は、未認定者では「地域包括支援センターの名前は知っていたが、利用したことはない」が最も高く、次いで「知らなかった」となっており、『利用したことがある』人は1割未満となっている。
- 要支援認定者・要介護認定者では、「介護事業者やケアマネジャーについての相談をした」がともに約3割を占めて高くなっている。



(13-1) 地域包括支援センターを利用して思ったこと

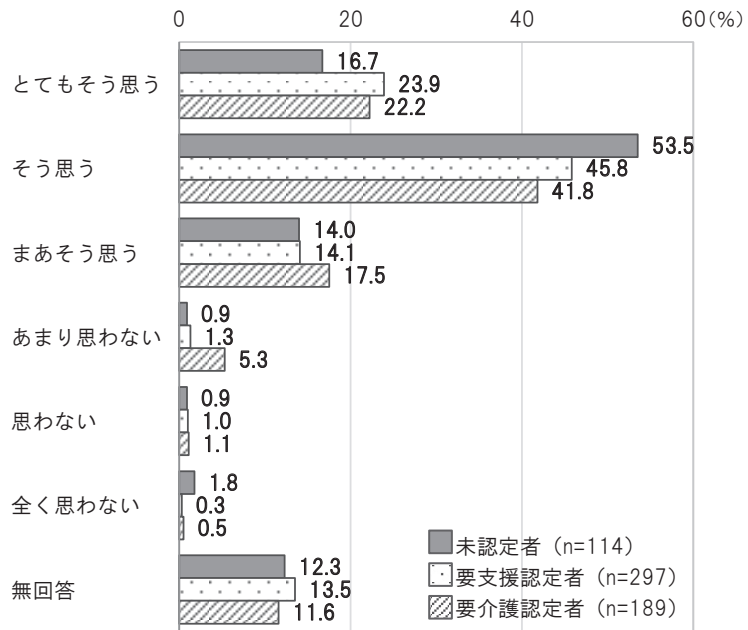
(13) で『利用した』と回答した人のみ

問 地域包括支援センターを利用して思ったことを教えてください。(それぞれ1つに○)

① しっかりと話を聞いてくれた

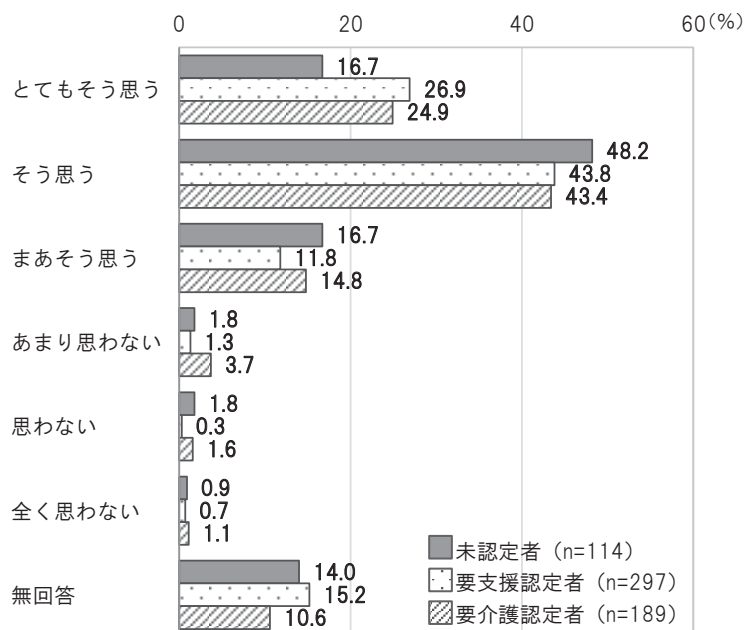
○ “しっかりと話を聞いてくれた” では、すべての区分で「そう思う」が最も高く、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』が大半を占めている。

○ 一方で、要介護認定者では「あまり思わない」が5.3%と、その他と比べてやや高くなっている。



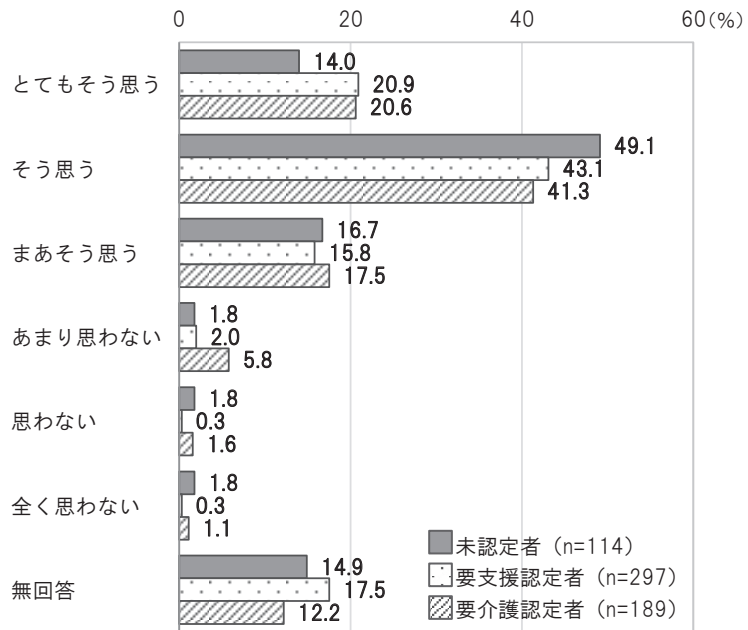
② すぐに対応してくれた

○ “すぐに対応してくれた” では、すべての区分で「そう思う」が最も高く、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』が大半を占めている。



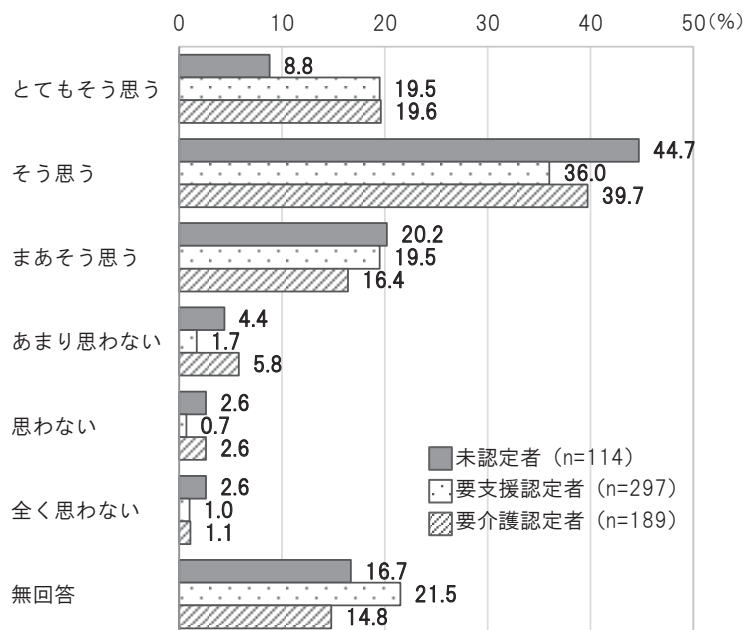
③ 説明がわかりやすかった

- “説明がわかりやすかった” では、すべての区分で「そう思う」が最も高く、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』が大半を占めている。
- 一方で、要介護認定者では「あまり思わない」が5.8%と、その他と比べてやや高くなっている。



④ 提案や回答の内容に納得した

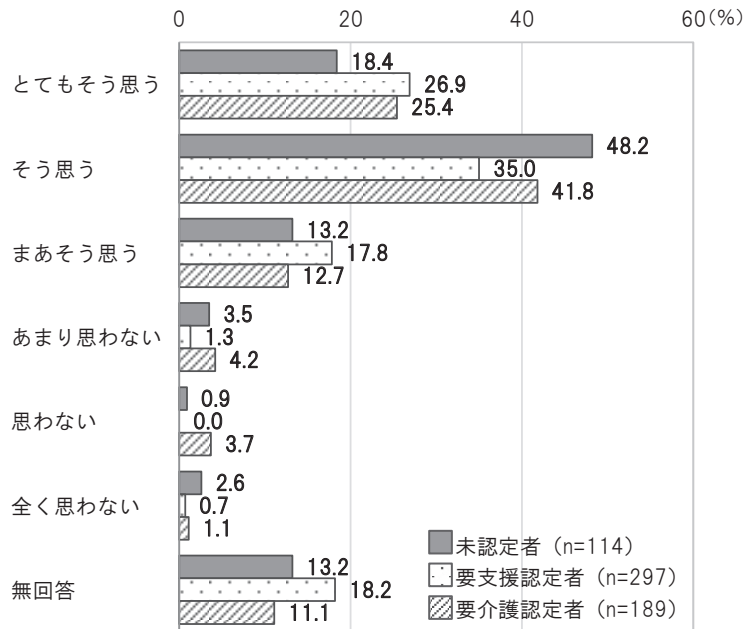
- “提案や回答の内容に納得した” では、すべての区分で「そう思う」が最も高く、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』が大半を占めている。
- 一方で、「あまり思わない」と「思わない」、「全く思わない」を合わせた『思わない』が、未認定者・要介護認定者で約1割を占めている。



⑤ 総合的にみて利用してよかった

○ “総合的にみて利用してよかった” では、すべての区分で「そう思う」が最も高く、「とてもそう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』が大半を占めている。

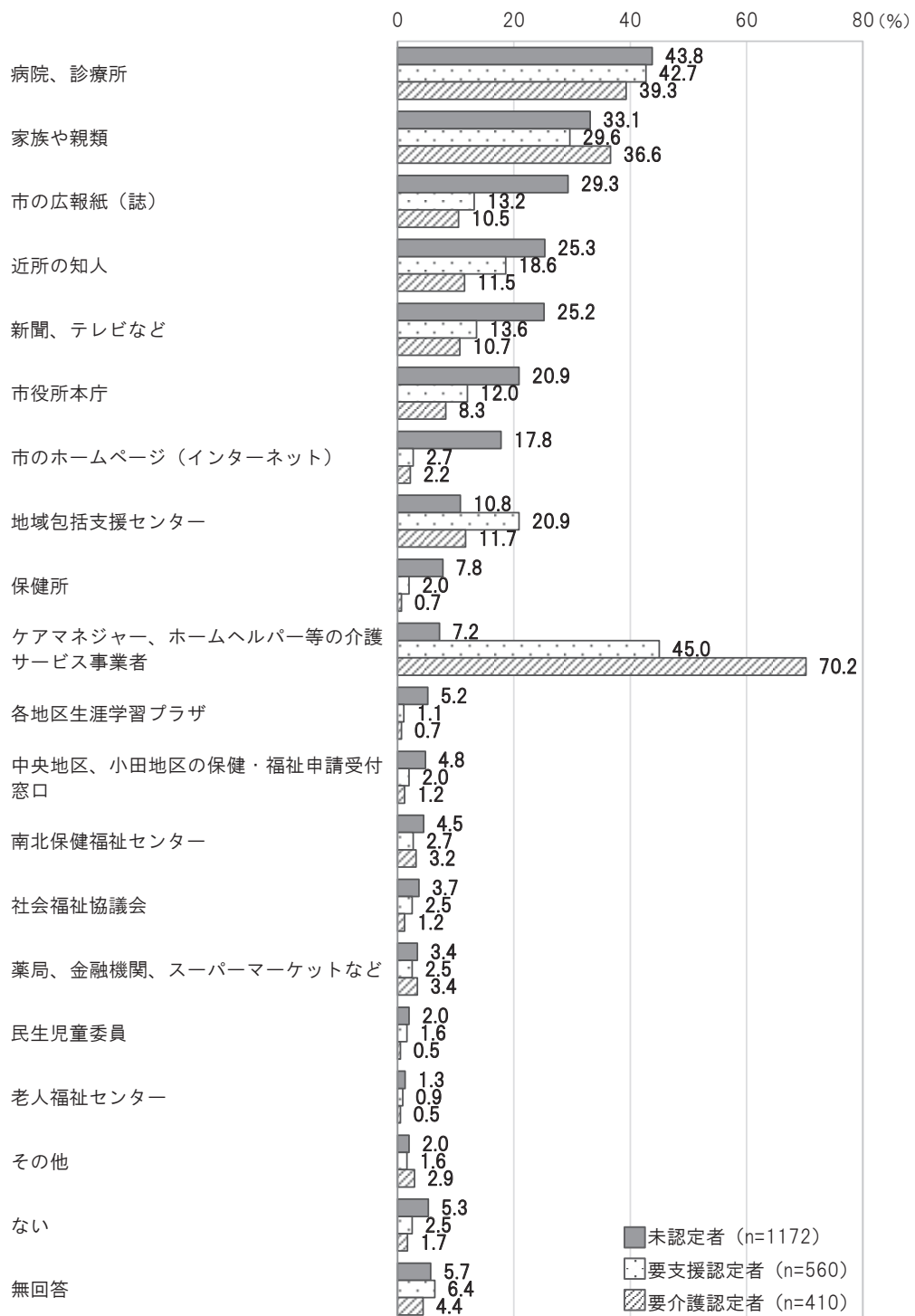
○ 一方で、「あまり思わない」と「思わない」、「全く思わない」を合わせた『思わない』が、要介護認定者で約1割を占めている。



(14) 健康または福祉に関する情報の入手先

問 あなたは健康または福祉に関することなどで困ったときに、どこから情報を入手しますか。
(あてはまるものすべてに○)

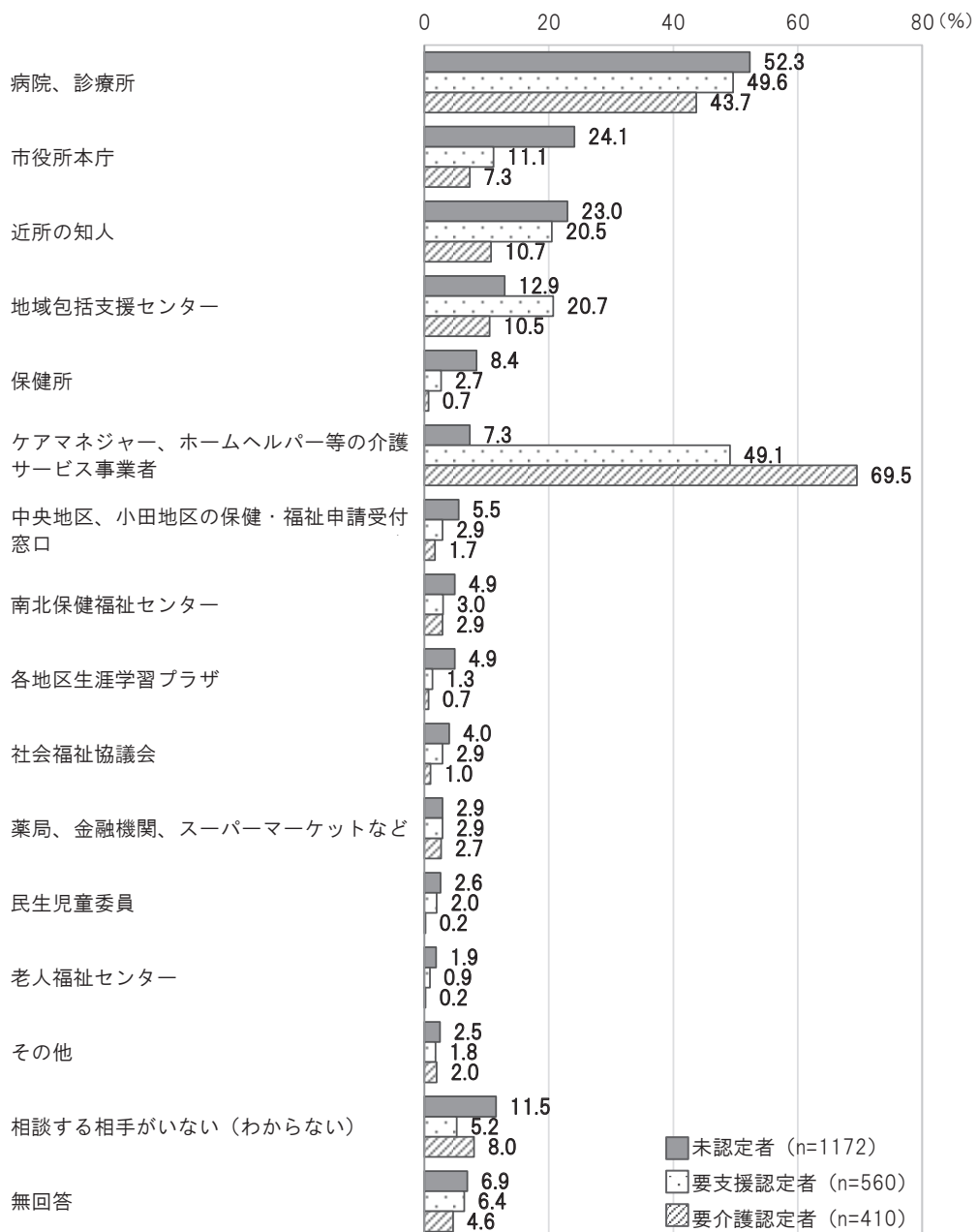
- 健康または福祉に関する情報の入手先は、未認定者では「病院、診療所」が最も高く、次いで「家族や親類」、「市の広報紙（誌）」、「近所の知人」の順となっている。
- 要支援認定者・要介護認定者では「ケアマネジャー、ホームヘルパー等の介護サービス事業者」が最も高く、特に要介護認定者では約7割を占め、その他の項目と比べても突出して高くなっている。



(15) 健康または福祉に関することで困った時の相談先

問 あなたは健康または福祉に関することなどで困ったときに、家族、親族以外で、誰に（どこに）相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

- 健康または福祉に関することで困った時の相談先は、未認定者・要支援認定者では「病院、診療所」が最も高く、次いで、未認定者では「市役所本庁」、「近所の知人」、要支援認定者では「ケアマネジャー、ホームヘルパー等の介護サービス事業者」、「地域包括支援センター」、「近所の知人」の順となっている。
- 要介護認定者では「ケアマネジャー、ホームヘルパー等の介護サービス事業者」が最も高く、次いで「病院、診療所」となっている。
- 一方で、未認定者では「相談する相手がない（わからない）」が1割を超えて、やや高くなっている。

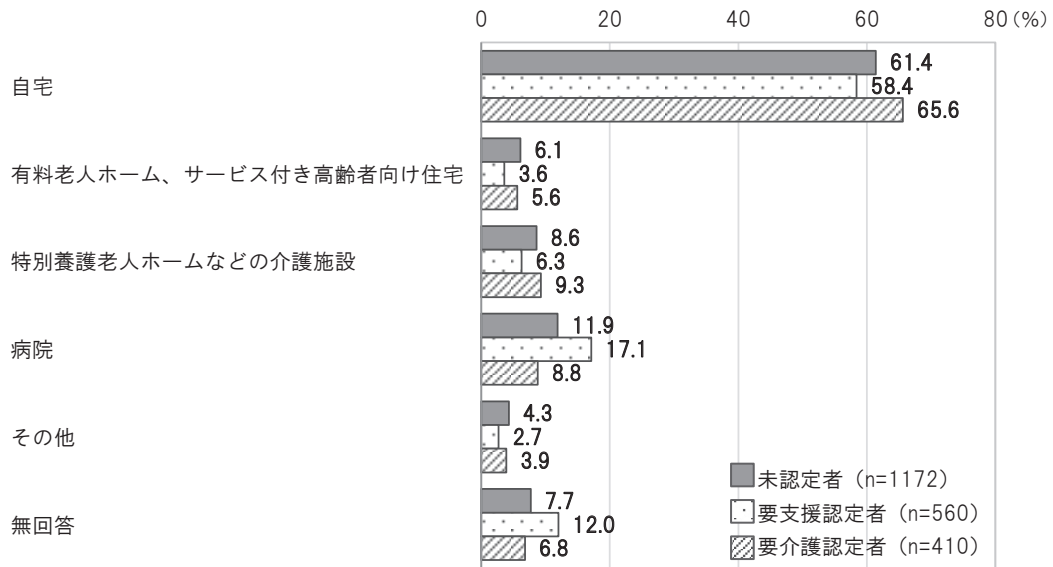


11. 今後の生活や高齢者施策全般について

(1) 人生最期を迎える場所の希望

問 あなたの人生最期の迎え方について、最期はどこで過ごしたいですか。(1つに○)

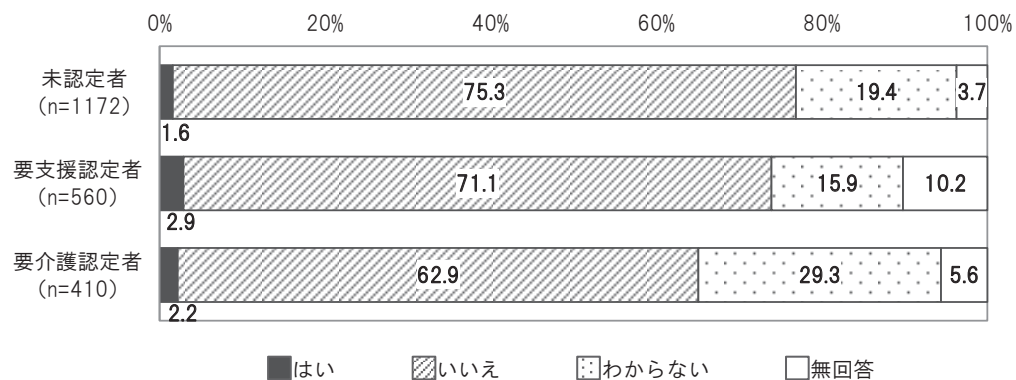
○人生最期を迎える場所の希望は、すべての区分で「自宅」が最も高く、次いで、未認定者・要支援認定者では「病院」、要介護認定者では「特別養護老人ホームなどの介護施設」となっている。



(2) 延命治療に対する希望

問 あなたの人生最期の迎え方について、延命治療を望みますか。(1つに○)

○延命治療に対する希望は、すべての区分で「いいえ」が大半を占めており、「はい」は1割未満となっている。

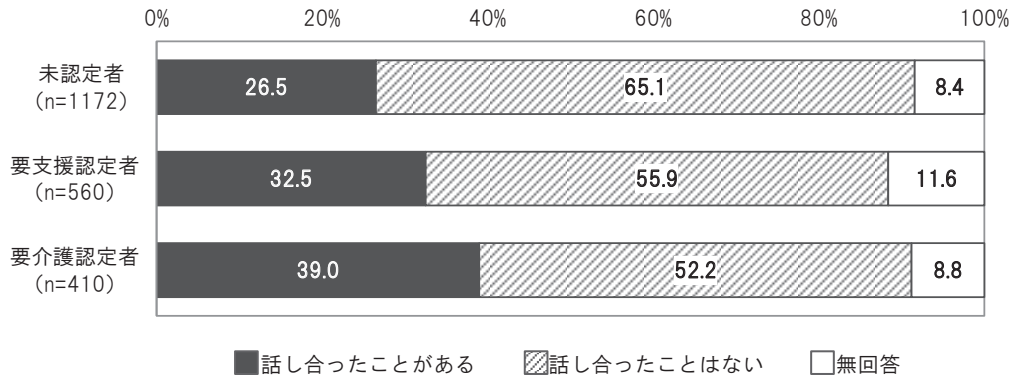


(3) 人生最期の迎え方や延命治療について話し合ったことの有無

問 あなたの人生最期の迎え方について、過ごしたい場所や延命治療について話し合ったことはありますか。(それぞれ1つに○)

① 人生最期を迎える場所

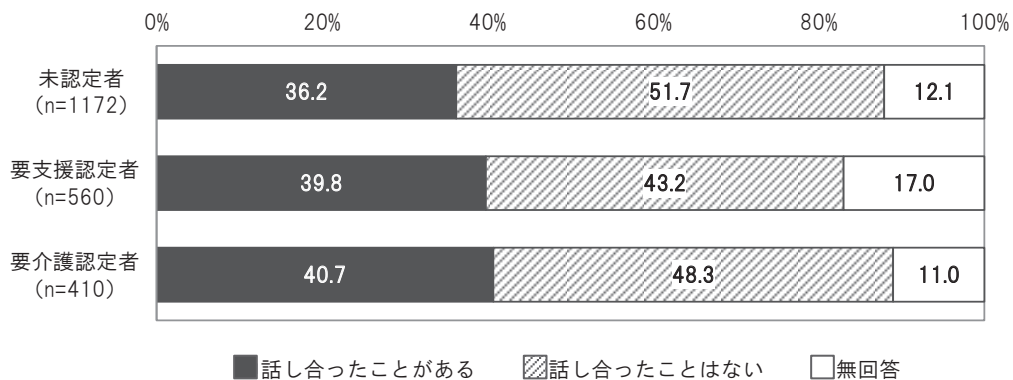
○人生最期を迎える場所について話し合ったことは、すべての区分で「話し合ったことはない」が半数以上を占めているものの、介護度が上がるほど「話し合ったことがある」が高くなる傾向がみられ、要介護認定者では約4割を占めている。



② 延命治療

○延命治療について話し合ったことは、すべての区分で「話し合ったことはない」が「話し合ったことがある」を上回っているものの、介護度が上がるほど「話し合ったことがある」がやや高くなる傾向がみられる。

○①の人生最期を迎える場所と比べると、延命治療について話し合ったことがある人が多い結果となっている。

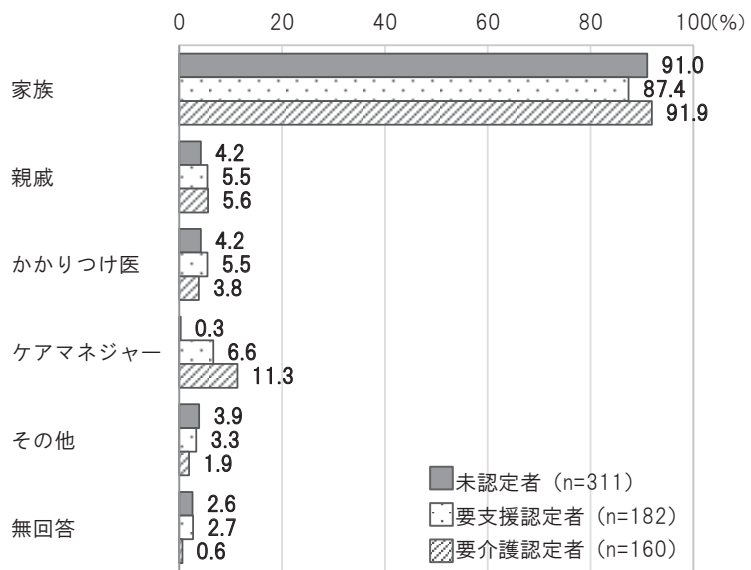


(3-1) 人生最期の迎え方や延命治療について話し合った相手

(3) で「話し合ったことがある」と回答した人のみ
 問 誰と話し合いましたか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

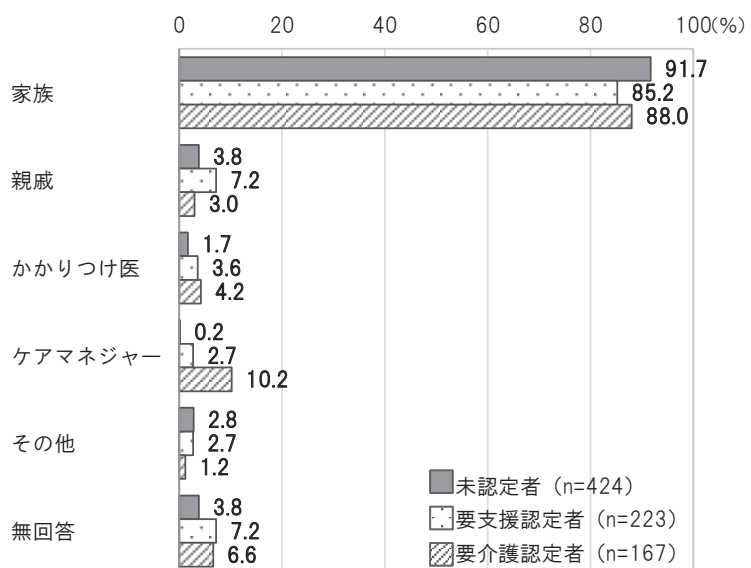
① 人生最期を迎える場所

- 人生最期を迎える場所について話し合った相手は、すべての区分で「家族」が最も高くなっている。
- また、介護度が高くなるほど「ケアマネジャー」が高くなる傾向がみられ、要介護認定者では1割を超えている。



② 延命治療

- 延命治療について話し合った相手は、すべての区分で「家族」が最も高くなっている。
- また、介護度が高くなるほど「かかりつけ医」や「ケアマネジャー」が高くなる傾向がみられ、要介護認定者では「ケアマネジャー」が約1割となっている。

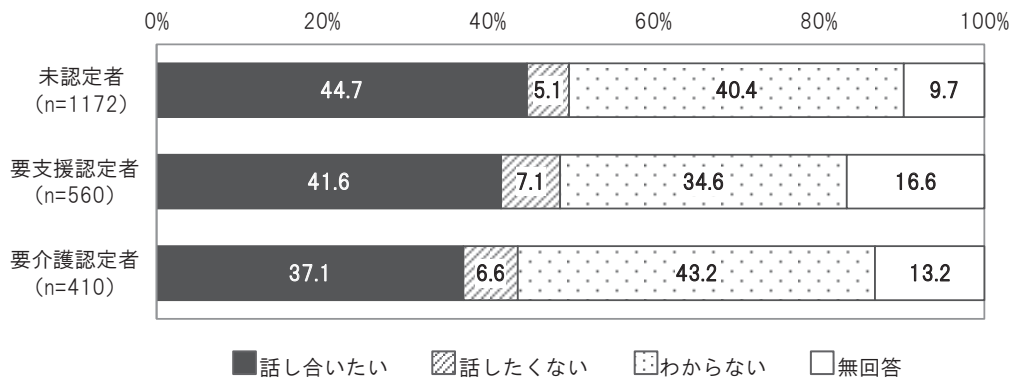


(4) 人生最期の迎え方や延命治療についての今後の話し合いの意向

問 あなたの人生最期の迎え方について、過ごしたい場所や延命治療について今後話したいと思えますか。(それぞれ1つに○)

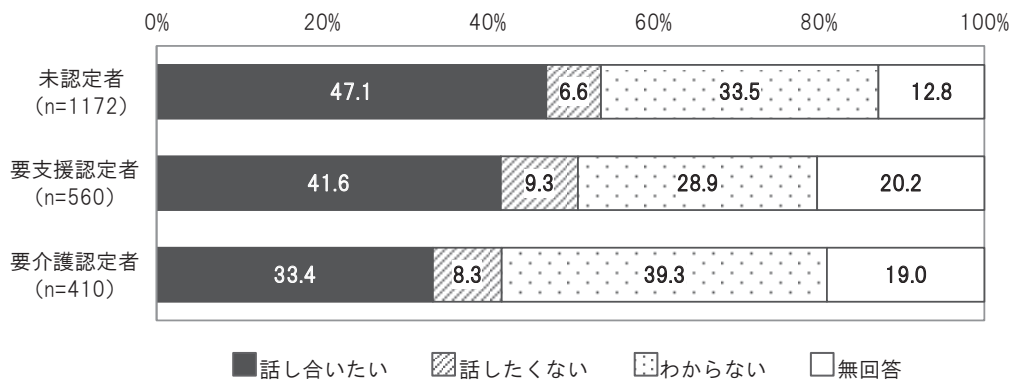
① 人生最期を迎える場所

- 人生最期を迎える場所についての今後の話し合いの意向は、未認定者・要支援認定者では「話したい」が4割を超え、最も高くなっている。
- 要介護認定者においては、「わからない」が最も高くなっているものの、「話したい」が4割近くを占めて高くなっている。



② 延命治療

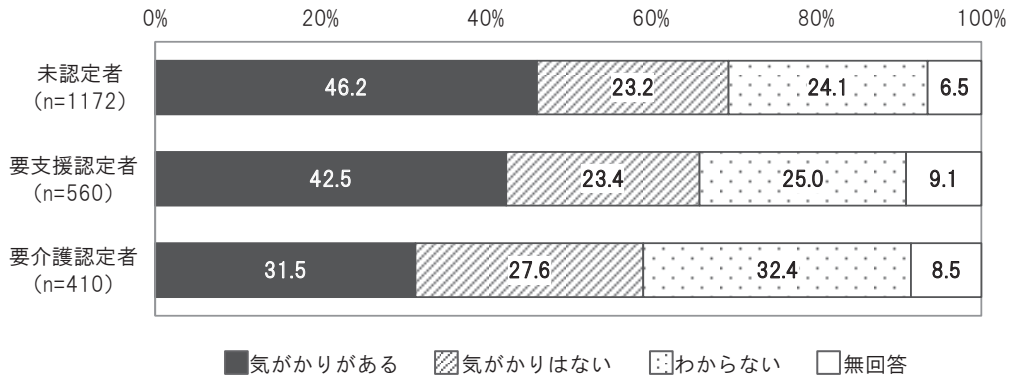
- 延命治療についての今後の話し合いの意向は、未認定者・要支援認定者では「話したい」が4割を超え、最も高くなっている。
- 要介護認定者においては、「わからない」が最も高くなっているものの、「話したい」が3割を超えて高くなっている。
- ①の人生最期を迎える場所と比べると、未認定者では延命治療について話し合いの意向が高い結果となっている。



(5) 人生最期を迎えるにあたっての気がかりの有無

問 あなたが人生最期を迎えるにあたって気がかりはありますか。(1つに○)

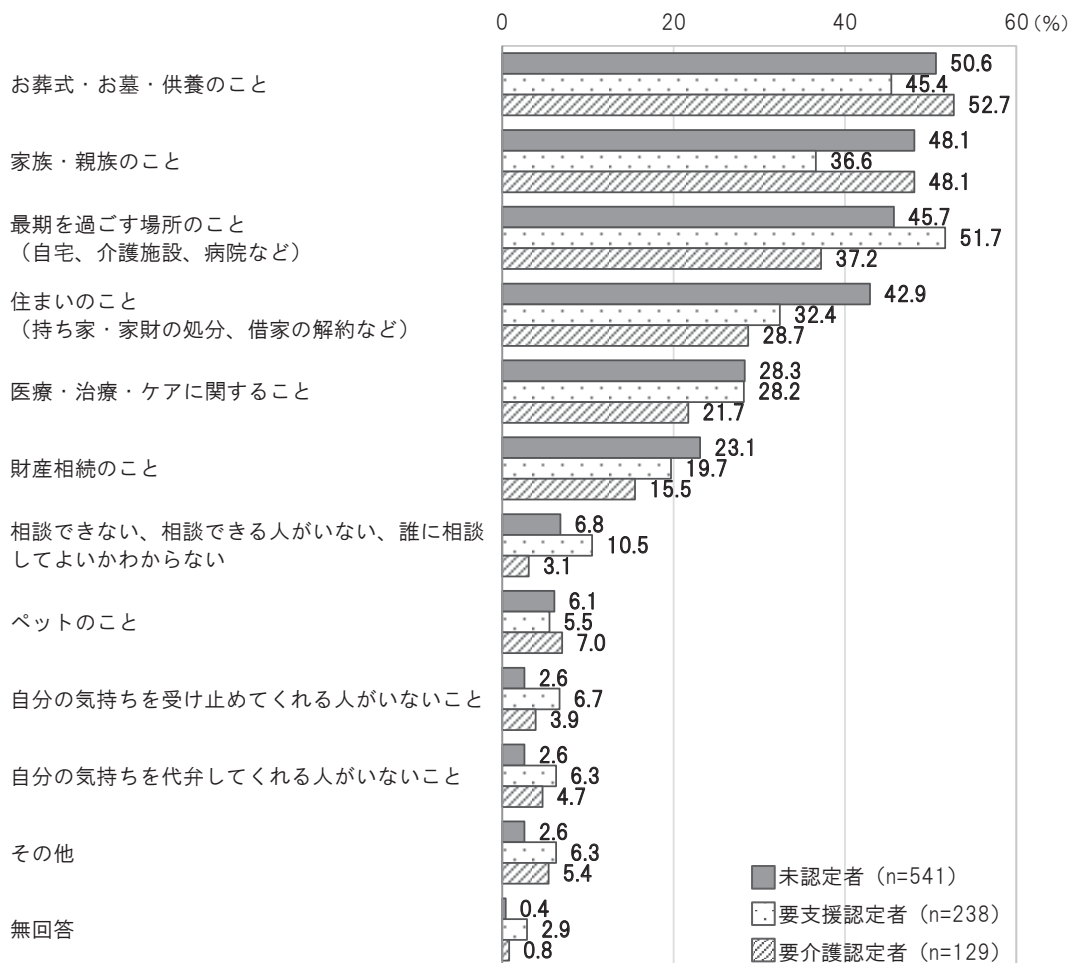
○人生最期を迎えるにあたっての気がかりの有無は、すべての区分で「気がかりがある」が「気がかりはない」を上回っており、特に未認定者・要支援認定者では4割を超えている。



(5-1) 人生最期を迎えるにあたっての気がかりの内容

(5) で「気がかりがある」と回答した人のみ
 問 どんなことを気がかりだと感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

○人生最期を迎えるにあたっての気がかりの内容は、未認定者・要介護認定者では「お葬式・お墓・供養のこと」、要支援認定者では「最期を過ごす場所のこと」が最も高くなっている。また、未認定者では「住まいのこと」が要支援認定者・要介護認定者に比べて高くなっている。

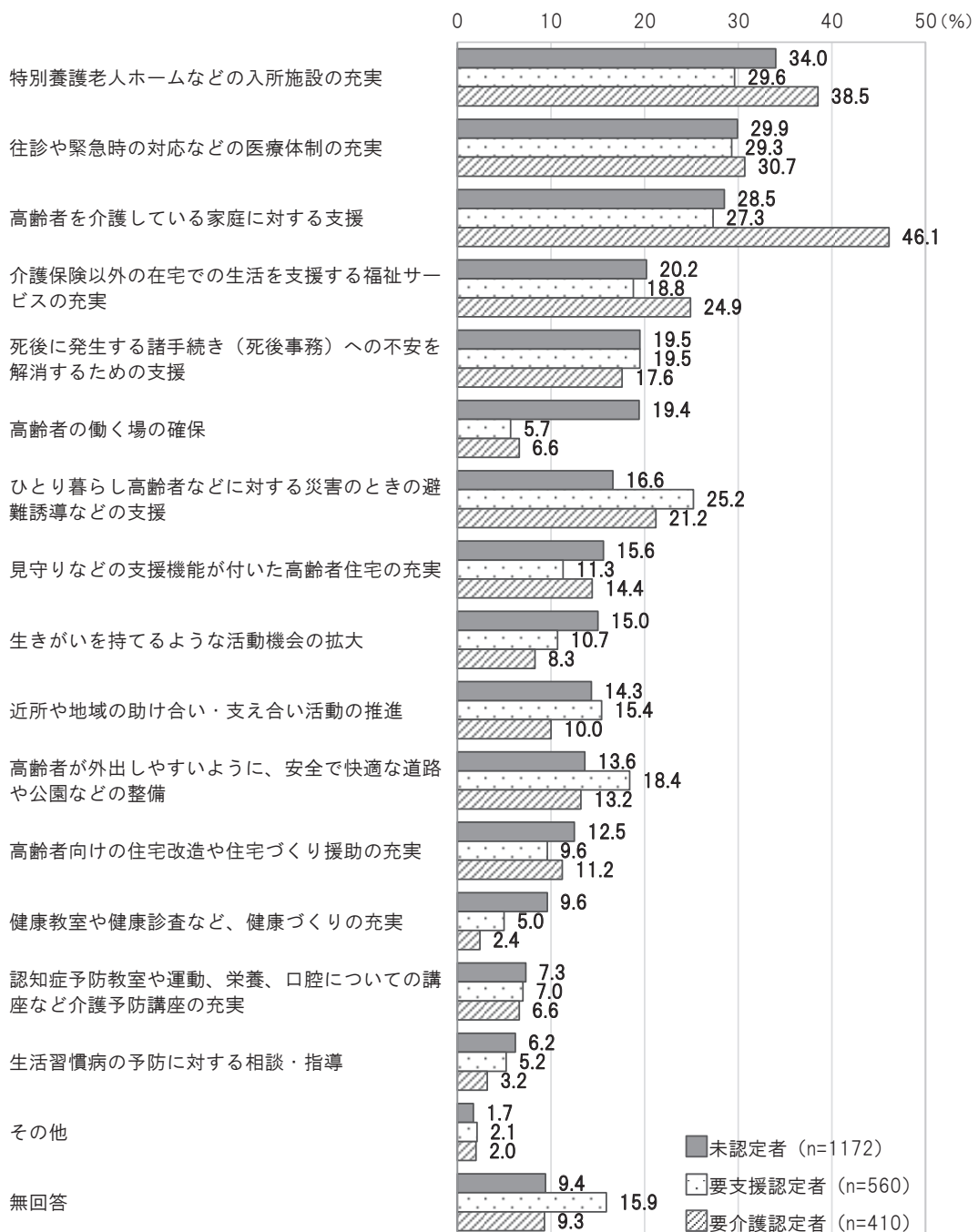


(6) 市の高齢者対策として力を入れてほしいと思うこと

問 今後、市の高齢者対策として力を入れてほしいと思うことはどのようなことですか。
(重要と思われるもの3つまでに○)

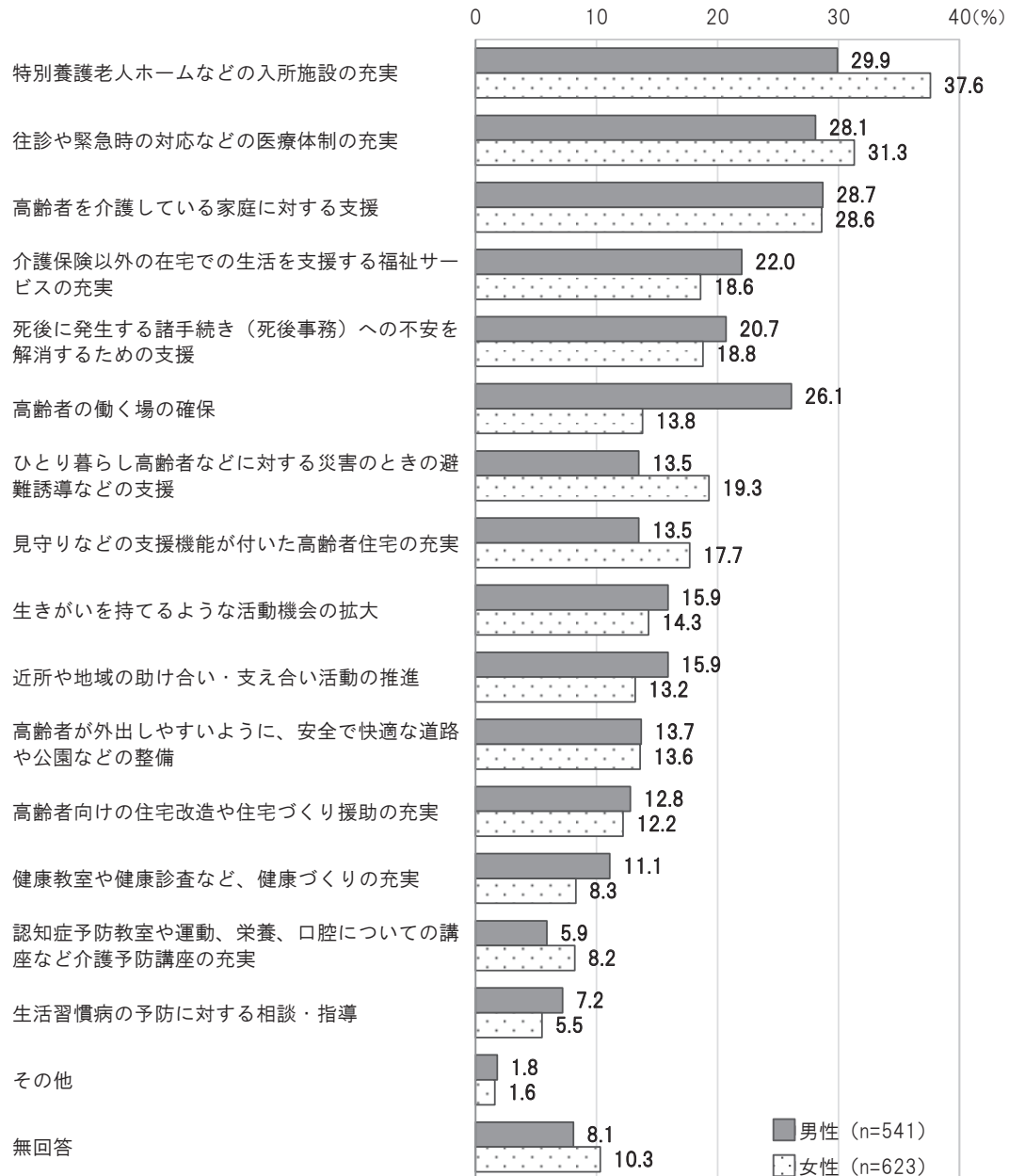
○市の高齢者対策として力を入れてほしいと思うことは、未認定者・要支援認定者では「特別養護老人ホームなどの入所施設の充実」、要介護認定者では「高齢者を介護している家庭に対する支援」が最も高くなっている。その他、「往診や緊急時の対応などの医療体制の充実」や「介護保険以外の在宅での生活を支援する福祉サービスの充実」などが高い割合となっている。

○未認定者では「高齢者の働く場の確保」、要支援認定者では「ひとり暮らし高齢者などに対する災害のときの避難誘導などの支援」や「高齢者が外出しやすいように、安全で快適な道路や公園などの整備」などが、その他に比べて高くなっている。



《性別（未認定者）》

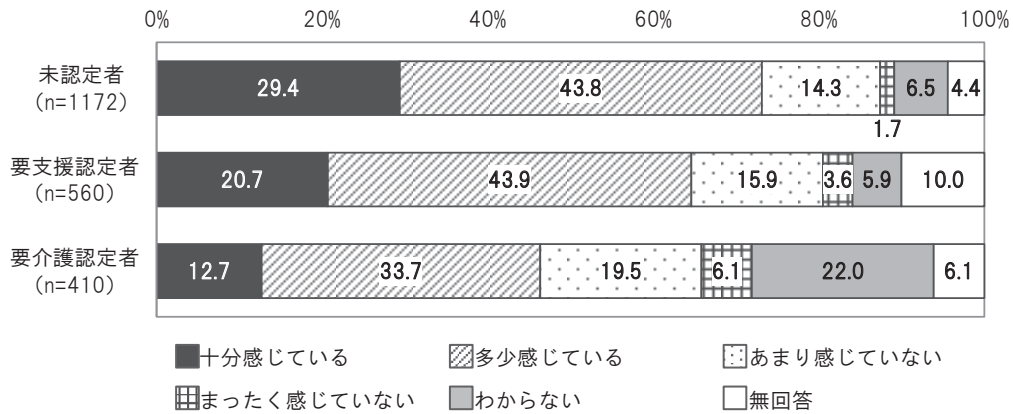
- 未認定者での市の高齢者対策として力を入れてほしいと思うことを性別にみると、男性では「高齢者の働く場の確保」が2割を超えて女性に比べて約2倍の割合となっている。
- また、女性では「特別養護老人ホームなどの入所施設の充実」や「ひとり暮らし高齢者などに対する災害のときの避難誘導などの支援」、「見守りなどの支援機能が付いた高齢者住宅の充実」などで男性に比べて大きく上回っている。



(7) 生きがい (喜びや楽しみ) の有無

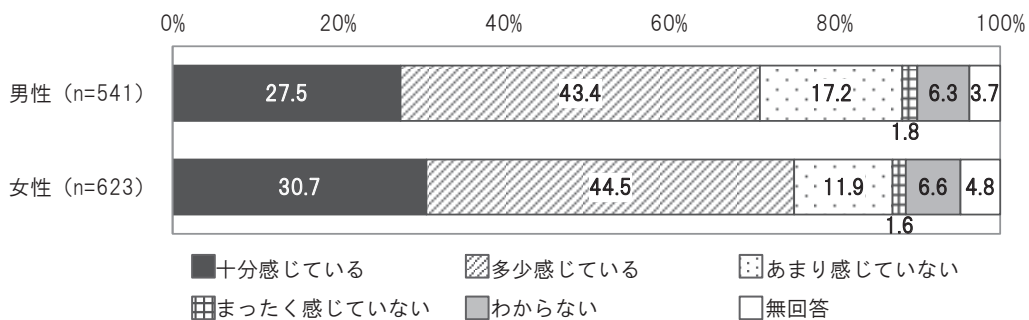
問 あなたは、現在どの程度生きがい (喜びや楽しみ) を感じていますか。(1つに○)

○生きがい (喜びや楽しみ) の有無は、「十分感じている」と「多少感じている」を合わせた『感じている』の割合をみると、未認定者では7割以上、要支援認定者では6割以上となっているのに対し、要介護認定者では半数未満と低くなっている。



《性別 (未認定者)》

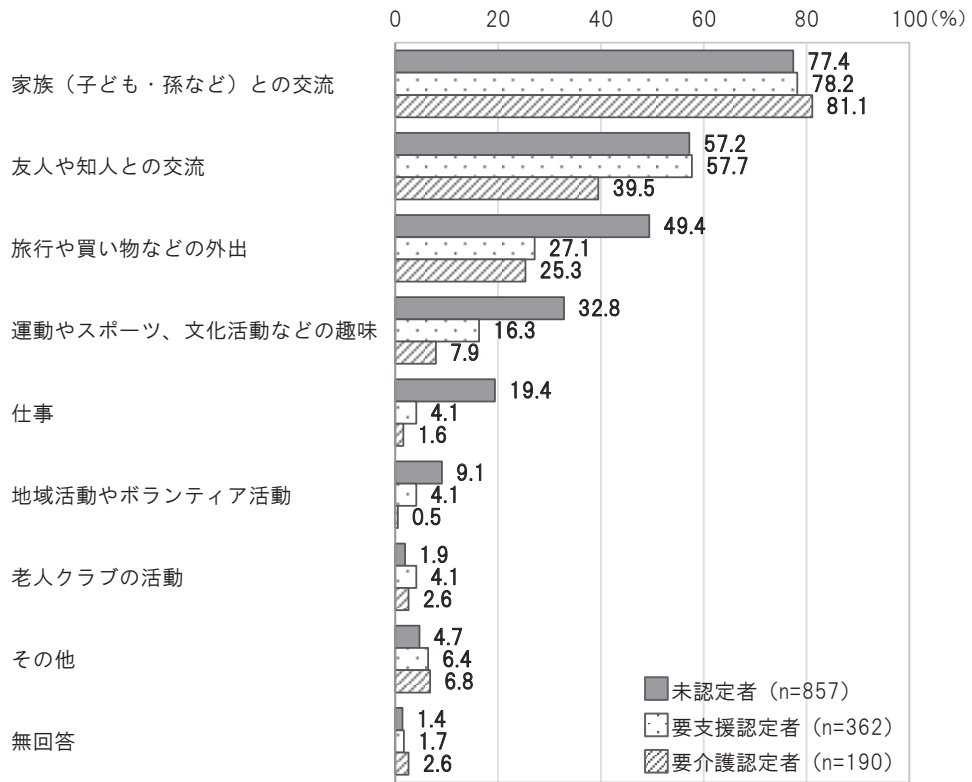
○未認定者での生きがい (喜びや楽しみ) の有無を性別にみると、「十分感じている」と「多少感じている」を合わせた『感じている』の割合が、女性が男性に比べてやや高くなっている。



(7-1) 生きがいを感じる時

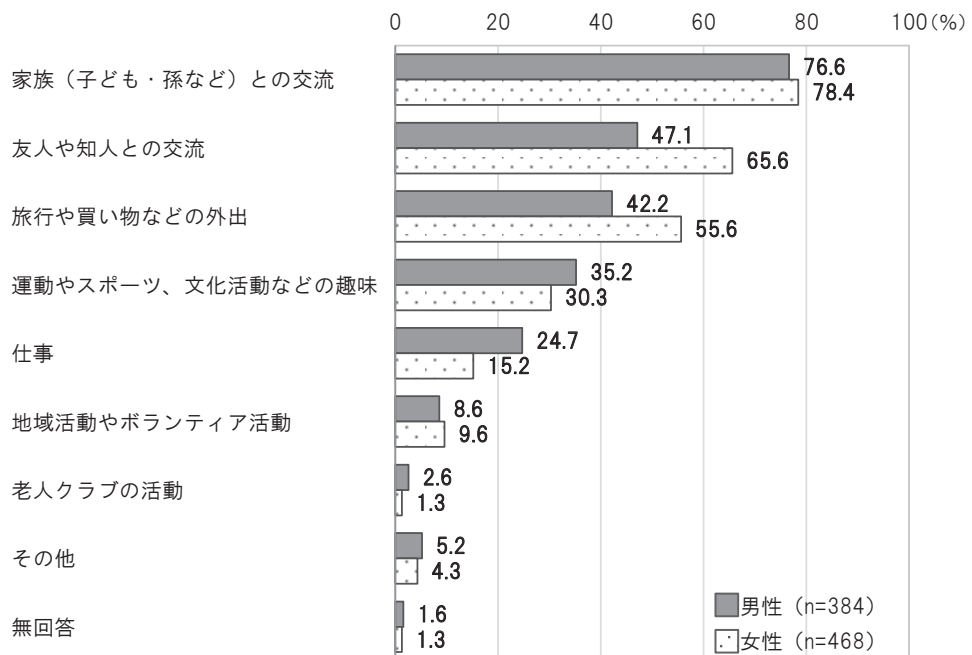
(7) で「十分感じている」または「多少感じている」と回答した人のみ
 問 生きがいを感じる時はどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)

○生きがいを感じる時は、すべての区分で「家族（子ども・孫など）との交流」が最も高く、次いで「友人や知人との交流」、「旅行や買い物などの外出」の順となっている。



《性別（未認定者）》

○未認定者での生きがいを感じる時を性別にみると、男性では「仕事」が女性に比べて高く、女性では「友人や知人との交流」や「旅行や買い物などの外出」で男性に比べて高くなっている。



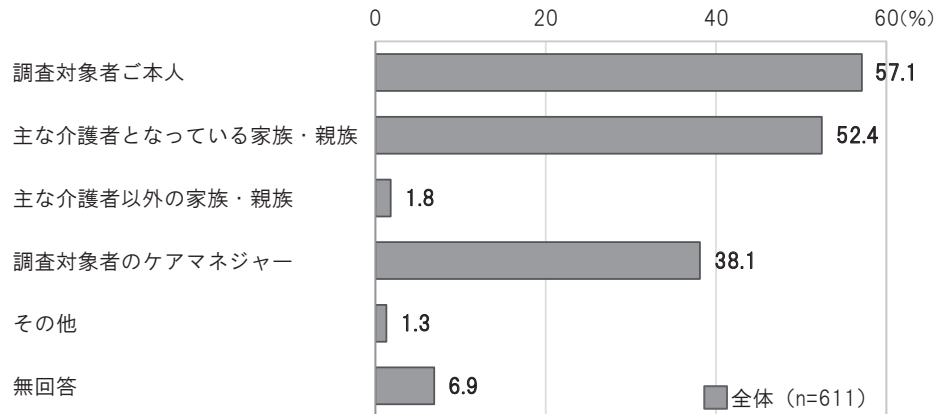
Ⅲ 在宅介護実態調査結果

1. 回答者の属性

(1) 聞き取りを行った相手

問 聞き取りを行った相手の方は、どなたですか。(複数選択可)

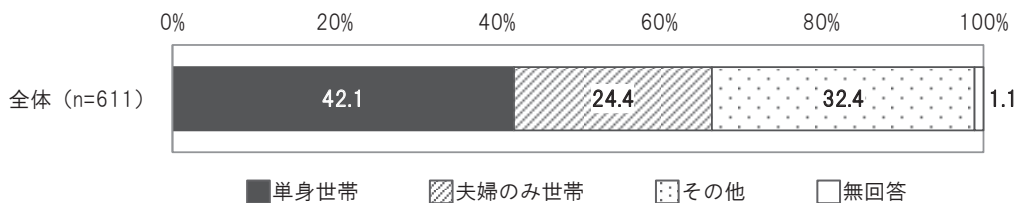
○調査の聞き取りを行った相手は、「調査対象者ご本人」が6割近くを占めて最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」、「調査対象者のケアマネジャー」の順となっている。



(2) 世帯類型

問 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

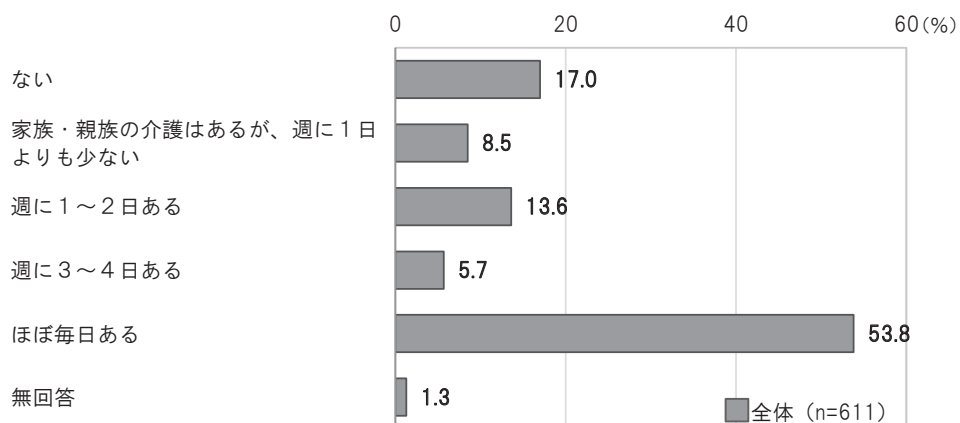
○世帯類型は、「単身世帯」が4割を超えて最も高く、「夫婦のみ世帯」が2割を超えており、「その他(同居世帯)」は3割程度となっている。



(3) 家族や親族からの介護の頻度

問 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(1つを選択)

○家族や親族からの介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が半数以上を占めて最も高く、「週に1～2日ある」、「週に3～4日ある」と合わせると、『週1日以上ある』が7割以上を占めている。

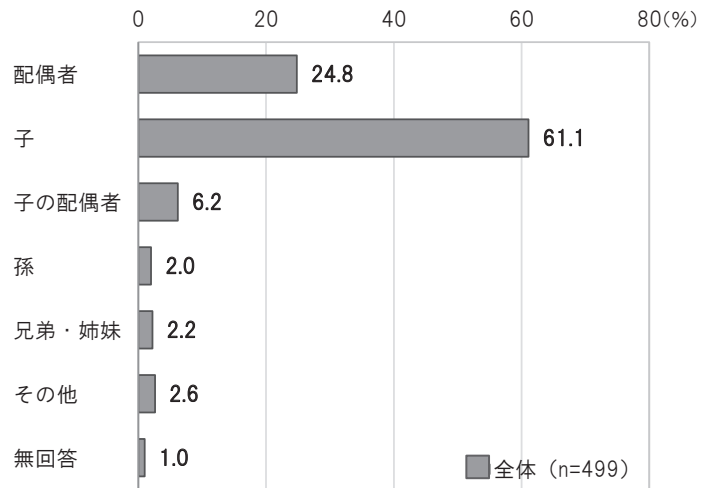


2. 主な介護者について ※家族や親族からの介護が「ある」人のみ

(1) 主な介護者の続柄

問 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

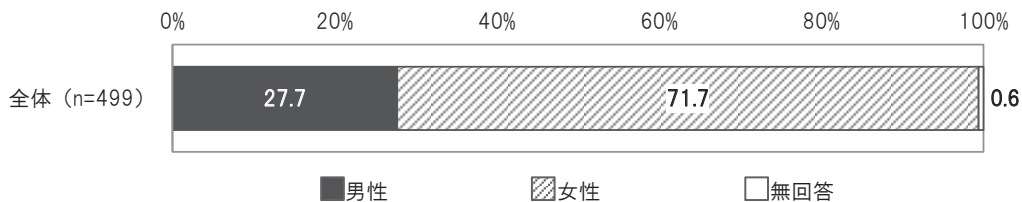
○主な介護者の続柄は、「子」が6割以上を占めて最も高く、次いで「配偶者」となっている。



(2) 主な介護者の性別

問 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

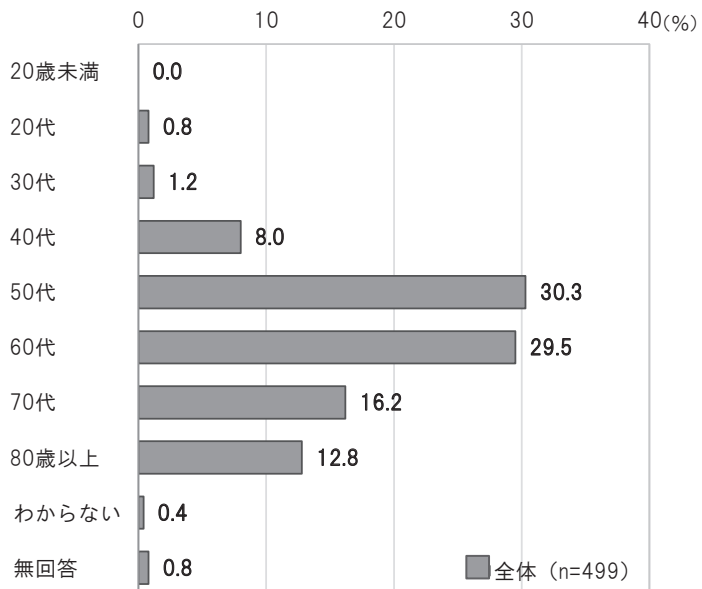
○主な介護者の性別は、「女性」が7割を超えており、「男性」は3割未満となっている。



(3) 主な介護者の年齢

問 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

○主な介護者の年齢は、「50代」が約3割を占めて最も高く、次いで「60代」、「70代」と続いており、『60歳以上』が6割近くを占めている。

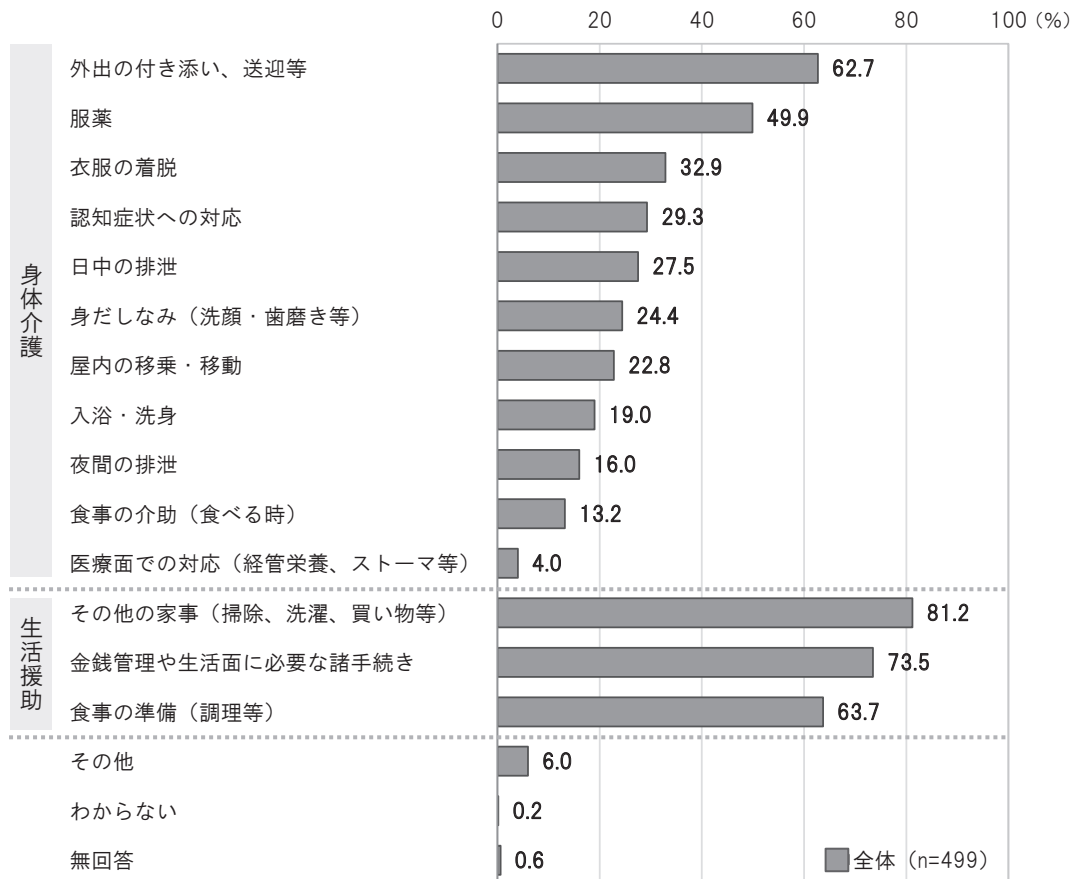


(4) 主な介護者が行っている介護等

問 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

○主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が8割を超えて最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「食事の準備（調理等）」の順となっており、生活援助をしている人が多い。

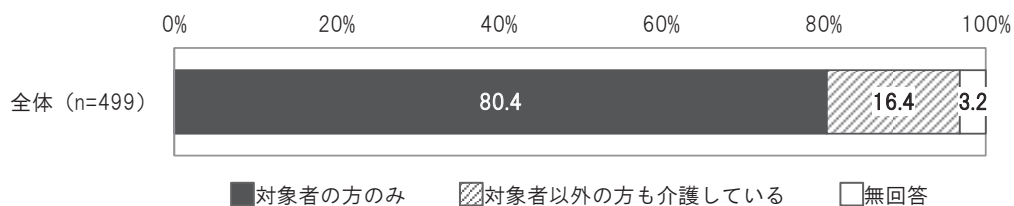
○身体介護では、「外出の付き添い、送迎等」が6割を超えて高く、次いで「服薬」、「衣服の着脱」、「認知症状への対応」の順となっている。



(5) 主な介護者が介護している他の対象者の有無

問 現在、主な介護者の方が介護しているのは、本調査の対象者の方のみですか。それ以外の人も介護していますか。(1つを選択)

○主な介護者が介護している他の対象者の有無は、「対象者の方のみ」が約8割を占めているものの、「対象者以外の方も介護している」と回答した複数の介護をしている人が1割を超えている。

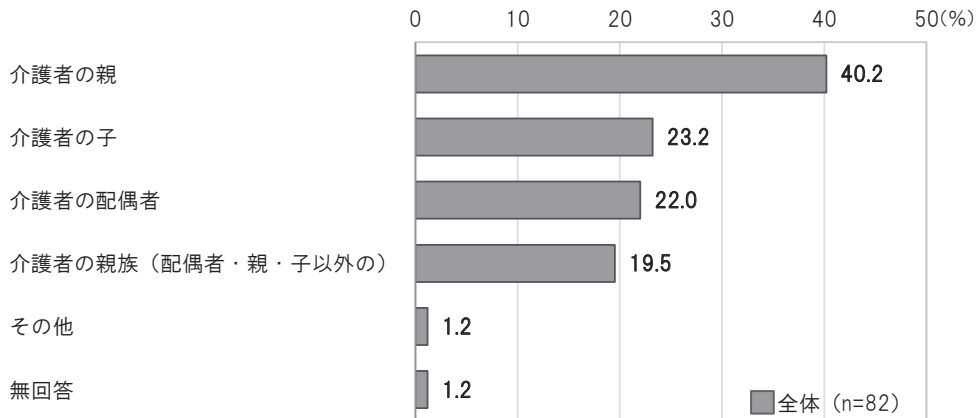


(5-1) 調査対象者以外に介護をしている人との関係

(5) で「対象者以外の方も介護している」と回答した人のみ

問 本調査の対象者のほかに、現在、主な介護者の方が介護している方は、どなたですか。介護者の方との関係についてお答えください。(複数選択可)

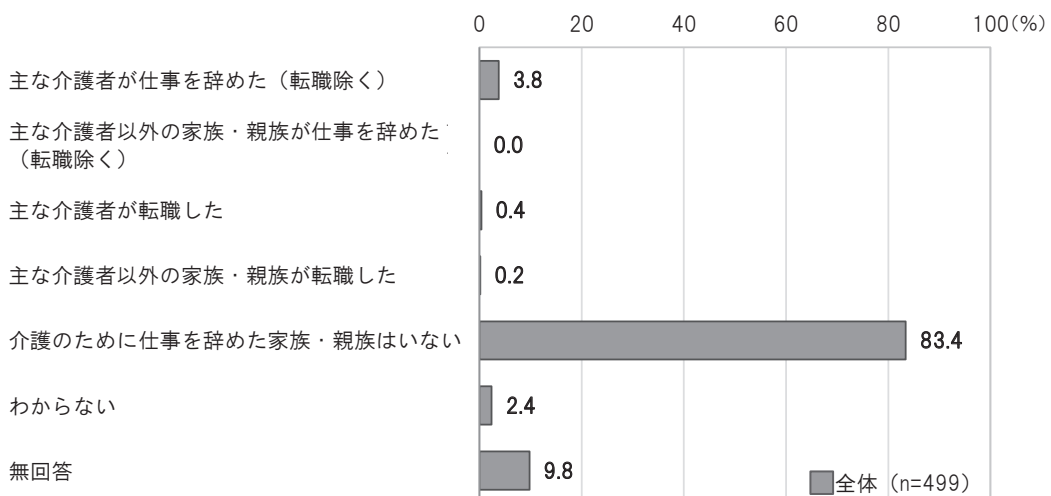
○調査対象者以外に介護をしている方がいる人の関係は、「介護者の親」が約4割を占めて最も高く、次いで「介護者の子」、「介護者の配偶者」、「介護者の親族（配偶者・親・子以外の）」の順となっている。



(6) 介護離職の状況

問 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。(複数選択可)

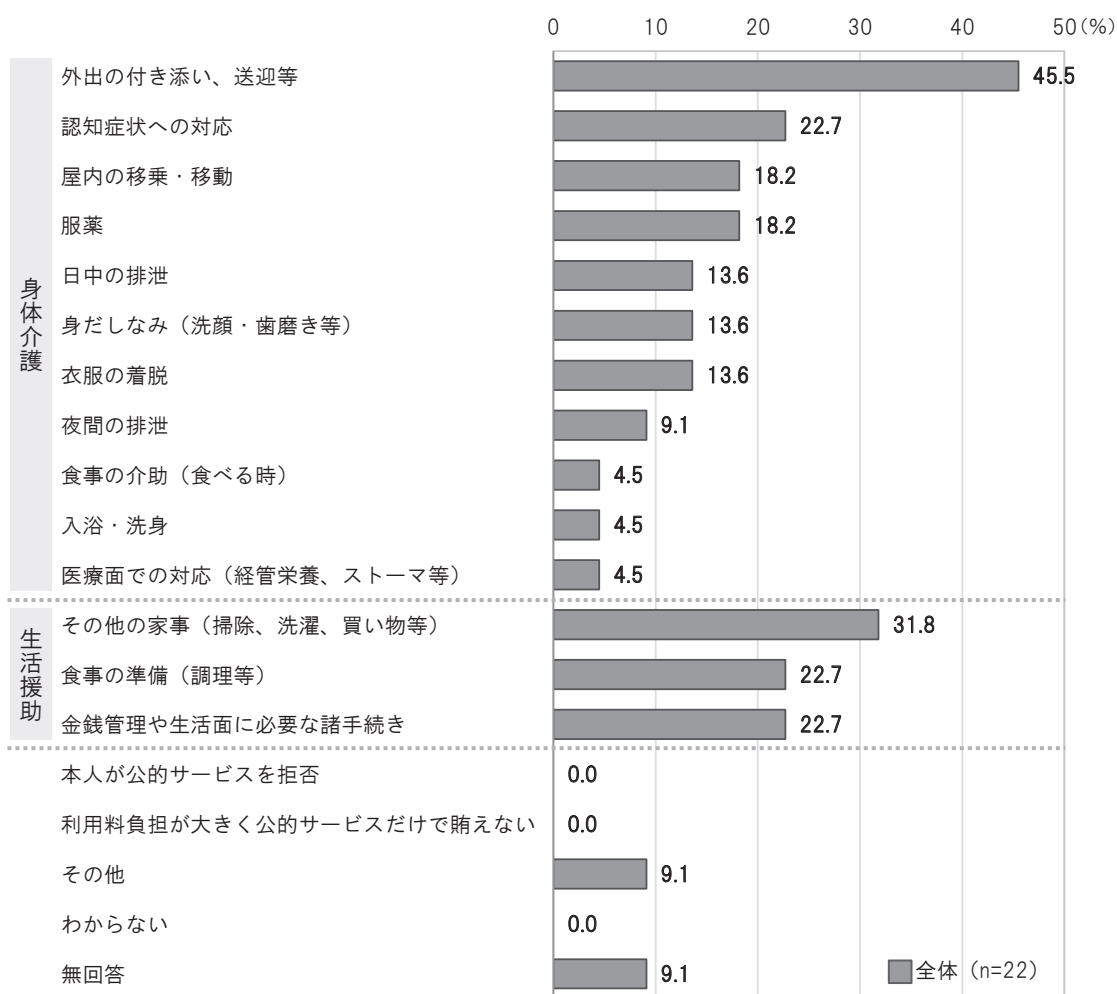
○介護離職の状況は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が8割を超えているものの、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」や「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」、「主な介護者が転職した」、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」を合わせた『介護のために仕事を辞めた家族・親族がいる』が約5%となっている。



(6-1) 仕事を辞めるあるいは変わるようになった原因

(6) で『介護のために仕事を辞めた家族・親族がいる』と回答した人のみ
 問 仕事を辞めるあるいは変わる一番の原因となったのは何ですか。(1つを選択)

- 仕事を辞めるあるいは変わるようになった原因は、「外出の付き添い、送迎等」が4割を超えて最も高くなっており、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の順となっており、生活援助を原因とする人が多い。
- 身体介護では、「外出の付き添い、送迎等」に次いで、「認知症状への対応」、「屋内の移乗・移動」、「服薬」の順となっている。



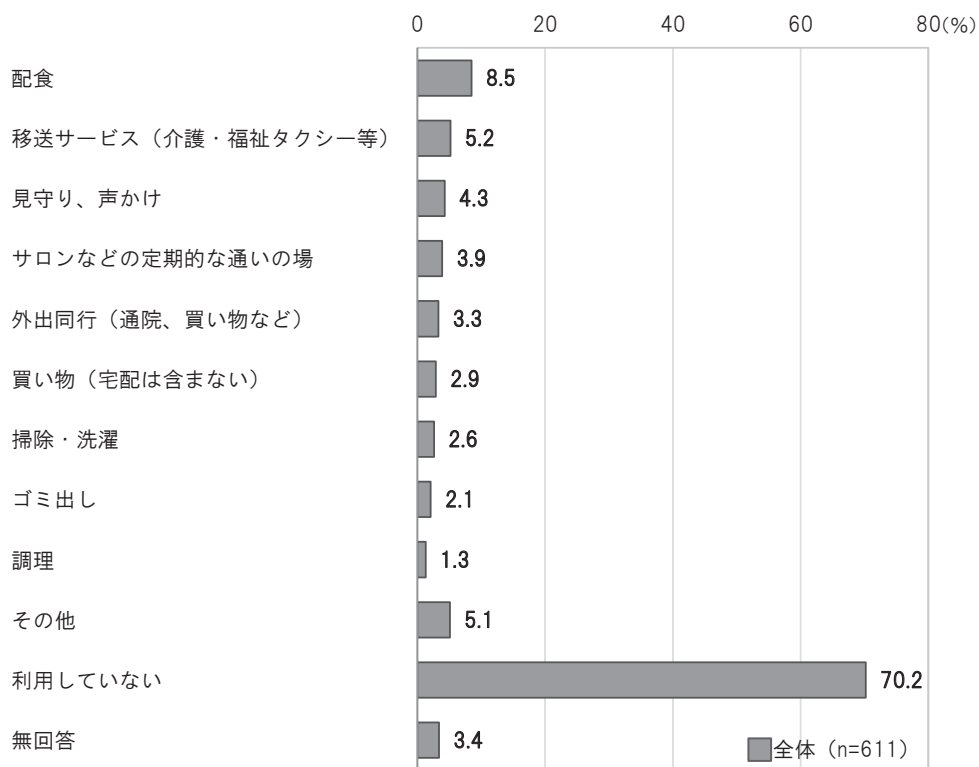
3. 高齢者に対するサービスについて

(1) 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

問 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(複数選択可)

○現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスは、「利用していない」が約7割を占めており、利用している人は3割未満となっている。

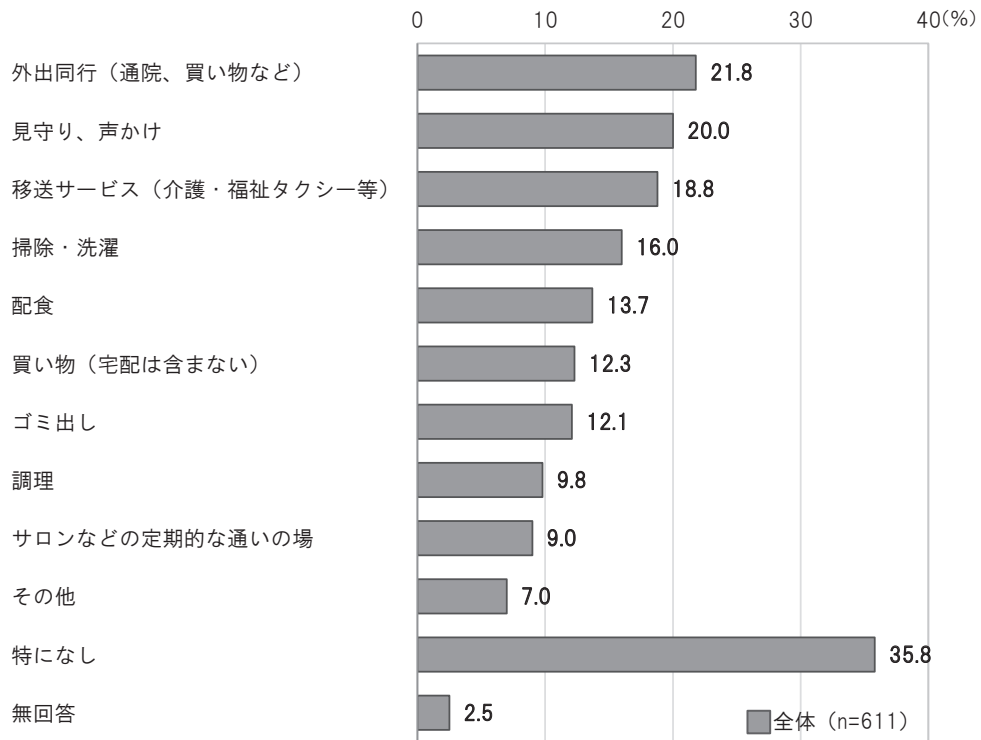
○利用している支援・サービスでは、「配食」が最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」の順となっている。



(2) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

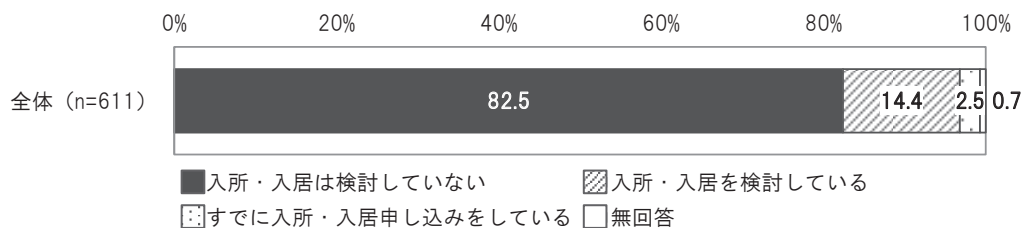
- 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」が3割を超えて最も高くなっている。
- 具体的な支援・サービスでは、「外出同行（通院、買い物など）」が2割を超えて最も高く、次いで「見守り、声かけ」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「掃除・洗濯」の順となっており、外出に関する支援・サービスを望む人が多い結果となっている。



(3) 施設等への入所・入居の検討状況

問 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

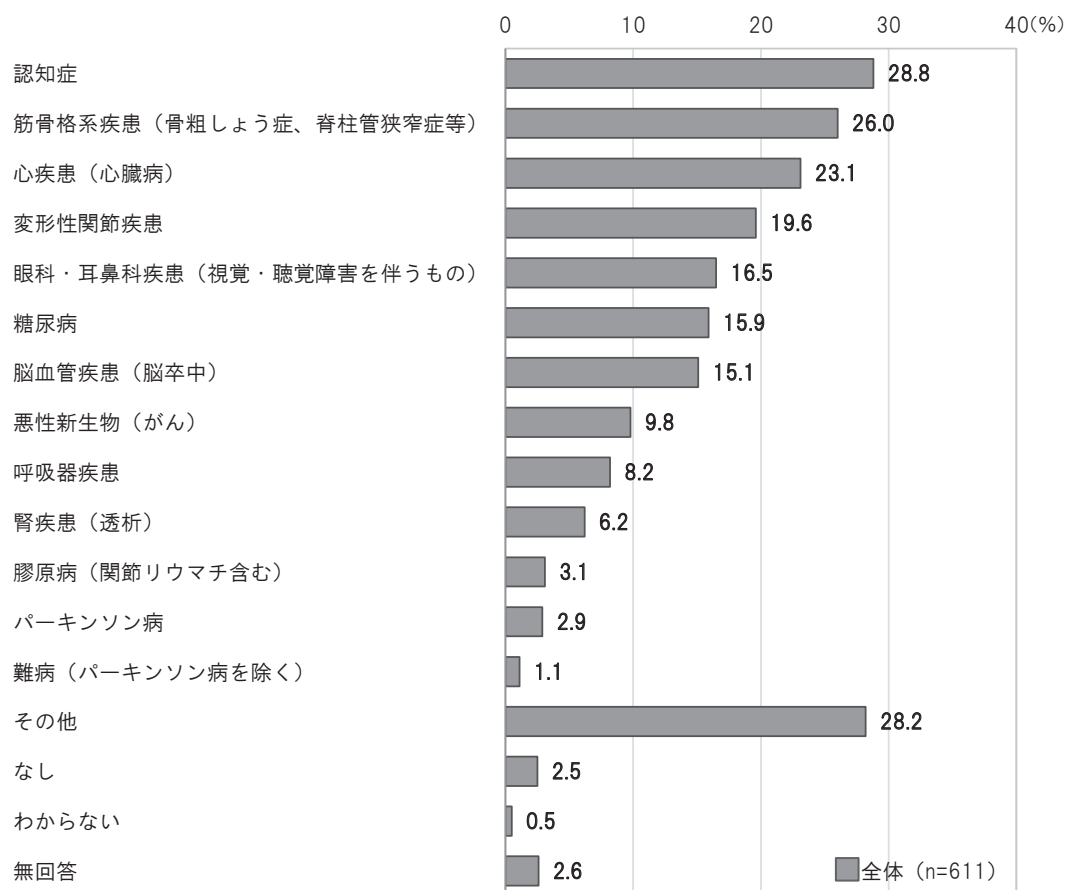
- 施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が8割を超えている。
- 一方で、「入所・入居を検討している」が1割を超え、「すでに入所・入居申し込みをしている」と合わせると2割近くを占めている。



(4) 本人が現在抱えている傷病

問 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

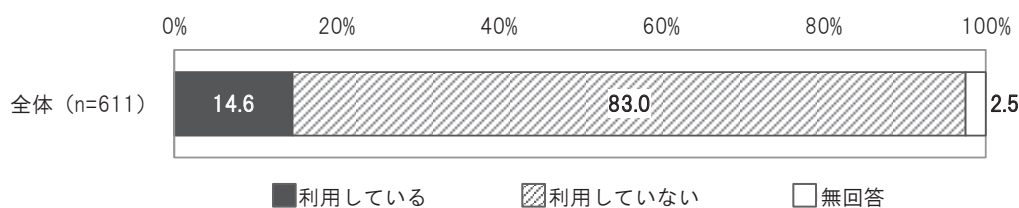
- 本人が現在抱えている傷病は、「認知症」が3割近くを占めて最も高くなっている。
- その他、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」や「心疾患（心臓病）」が2割以上、「変形性関節疾患」が約2割を占めて高くなっている。



(5) 訪問診療の利用状況

問 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

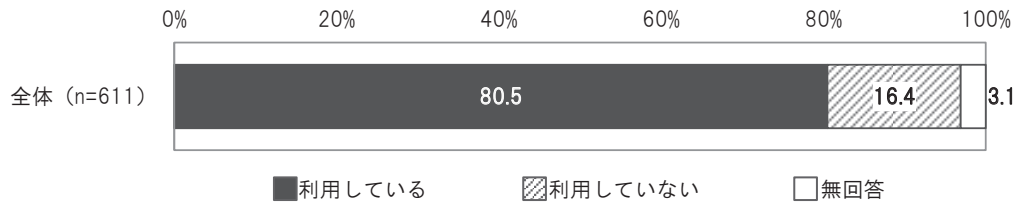
- 訪問診療の利用状況は、「利用していない」が8割を超えており、「利用している」は2割未満となっている。



(6) 介護保険サービスの利用状況

問 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。
(1つを選択)

○介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が約8割を占めており、「利用していない」は2割未満となっている。

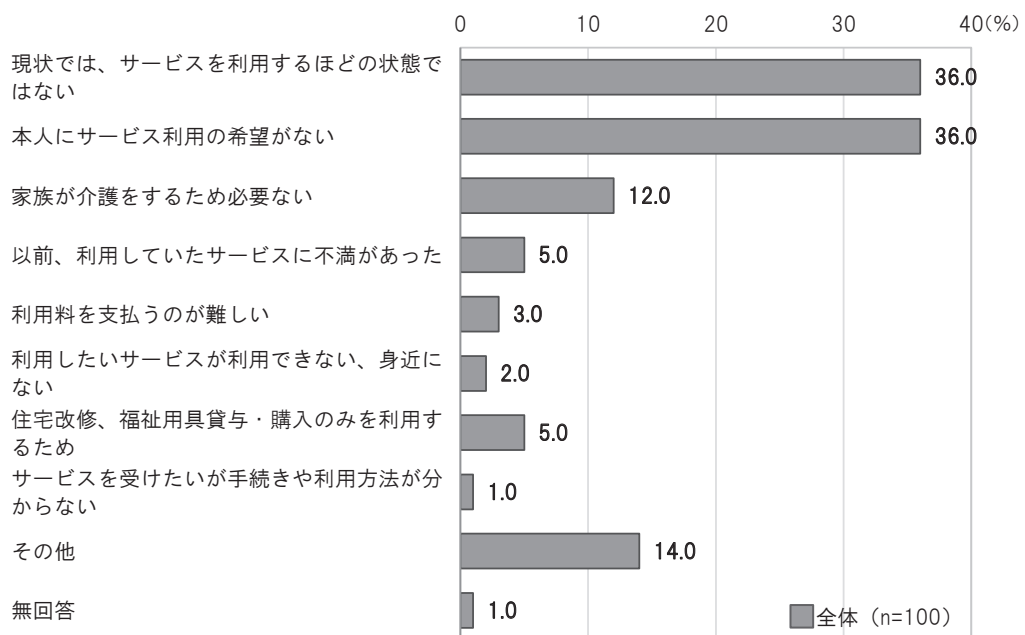


(6-1) 介護保険サービスを利用していない理由

(6)で「利用していない」と回答した人のみ

問 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

○介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」及び「本人にサービス利用の希望がない」がともに3割を超えて最も高くなっている。

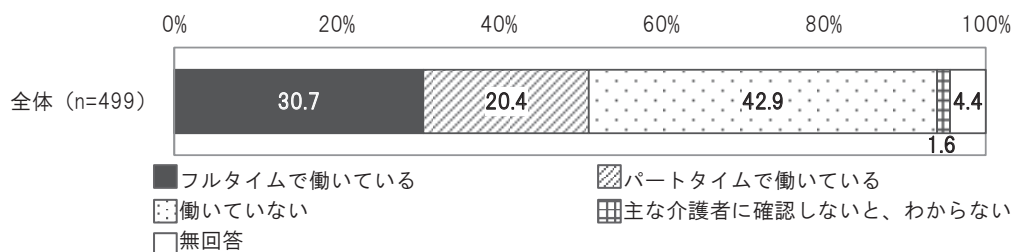


4. 主な介護者の就労状況について ※家族や親族からの介護が「ある」人のみ

(1) 主な介護者の勤務形態

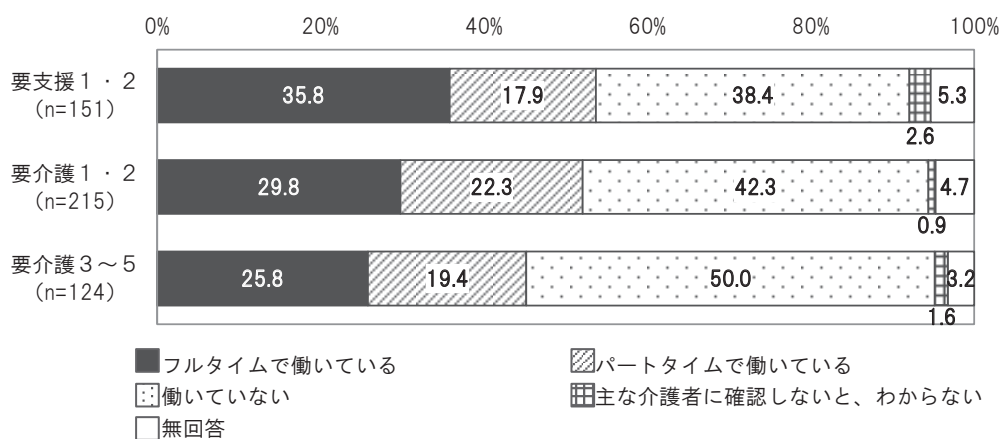
問 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

○主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が4割を超えて最も高くなっているものの、「フルタイムで働いている」が約3割、「パートタイムで働いている」が約2割となっており、『働いている』人が約半数を占めている。



《介護度別》

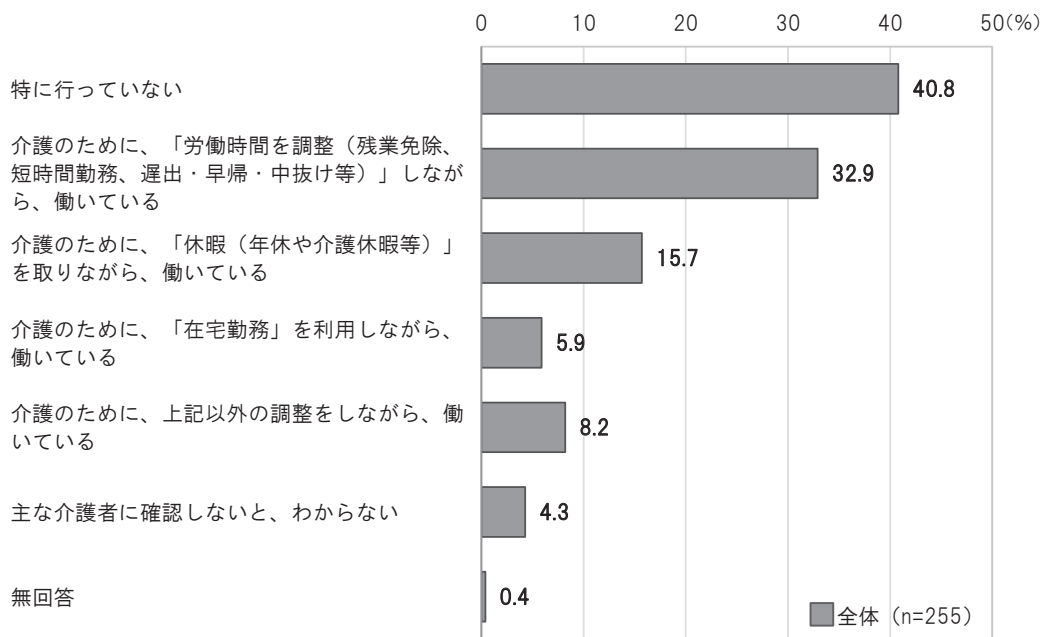
○介護度別にみると、要支援1・2、要介護1・2では『働いている』が半数以上を占めるのに対し、要介護3～5では4割程度となっている。また、介護度が上がるほど、「働いていない」が高くなる傾向がみられる。



(1-1) 就労している主な介護者の働き方についての調整等の有無

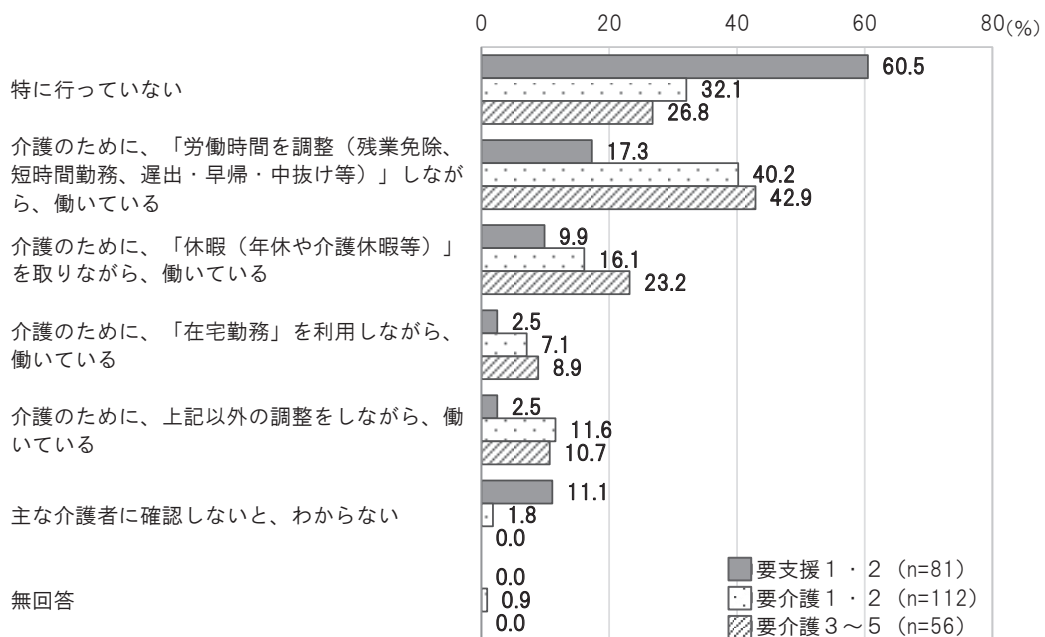
(1) で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ
 問 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
 (複数選択可)

○就労している主な介護者の働き方についての調整等の有無は、「特に行っていない」が約4割を占めて最も高くなっているものの、次いで「介護のために“労働時間を調整”しながら、働いている」が3割を超えて高くなっており、休暇の取得や在宅勤務などを合わせると、『何かしら働き方について調整等をしている』人が半数以上を占めている。



《介護度別》

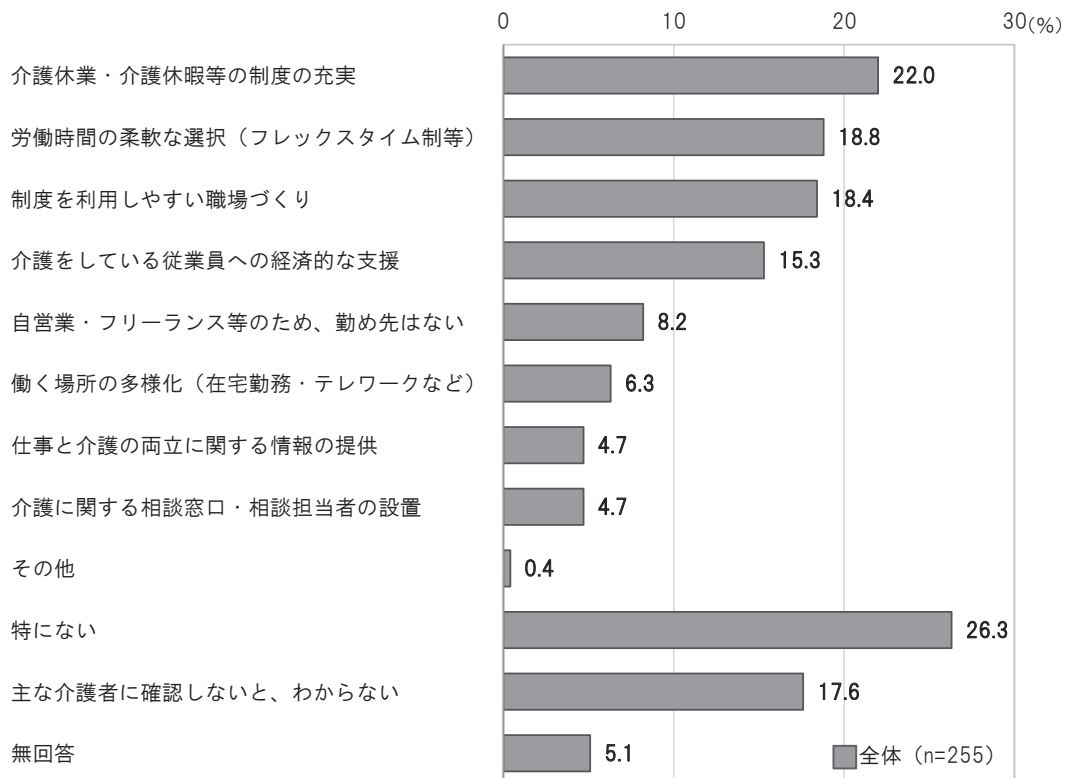
○介護度別にみると、介護度が上がるほど「特に行っていない」が低くなる傾向がみられ、『何かしら働き方について調整等をしている』人が要支援1・2では3割未満となっているのに対し、要介護1・2では6割以上、要介護3～5では7割以上を占めている。



(1-2) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

(1) で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ
 問 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思
 いますか。(3つまで選択可)

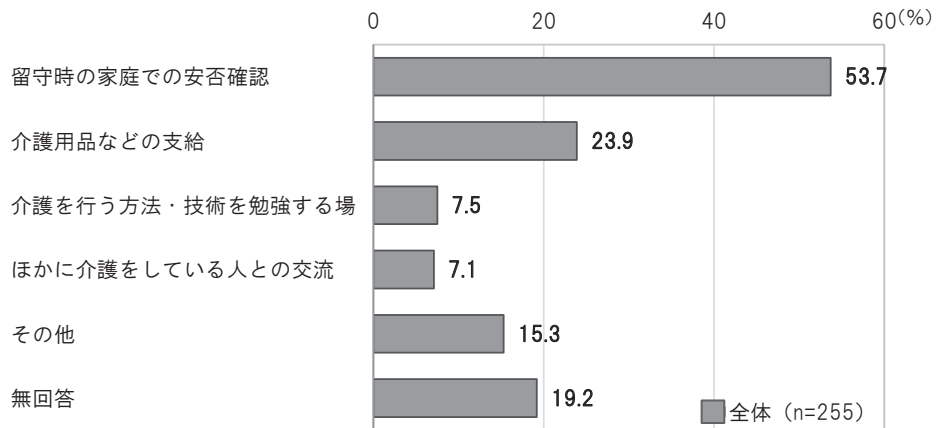
○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、「特にない」が最も高くなっているものの、具体的な支援では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が2割を超えて高くなっており、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制等)」、「制度を利用しやすい職場づくり」の順となっている。



(1-3) 介護をしている方への手助けとして必要なこと

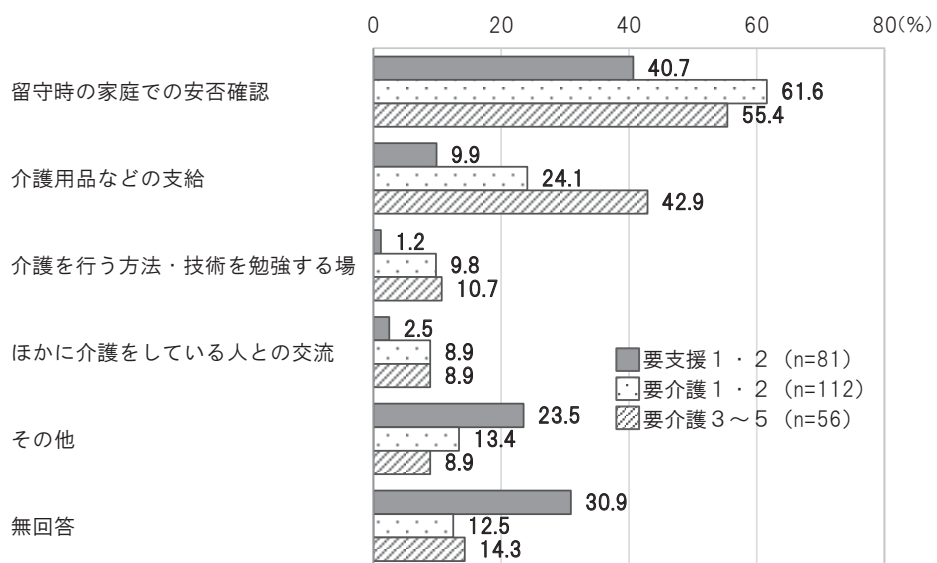
(1) で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ
 問 介護をしている方への手助けとして、必要と思うものは何ですか。(複数選択可)

○介護をしている方への手助けとして必要なことは、「留守時の家庭での安否確認」が半数を超えて最も高く、次いで「介護用品などの支給」となっている。



《介護度別》

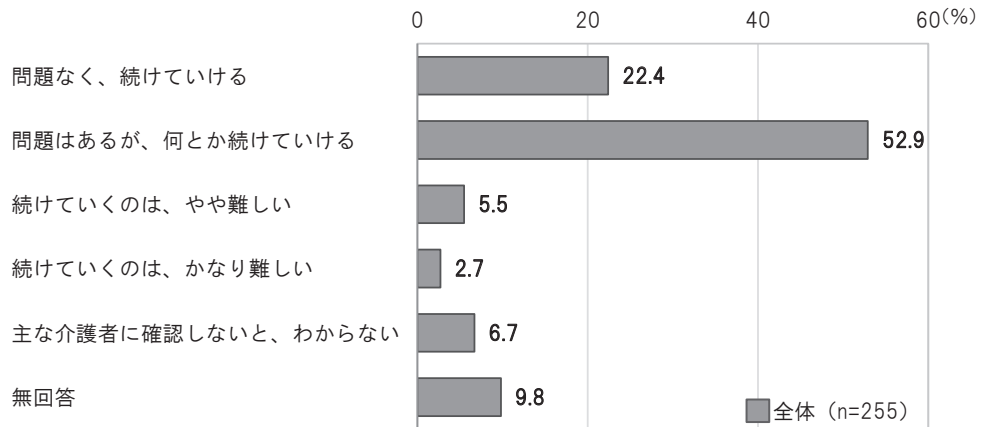
○介護度別にみると、ほとんどの項目で、要支援1・2に比べて要介護で高くなっており、特に「介護用品などの支給」では介護度が上がるほど高くなる傾向がみられる。



(1-4) 今後の就労継続

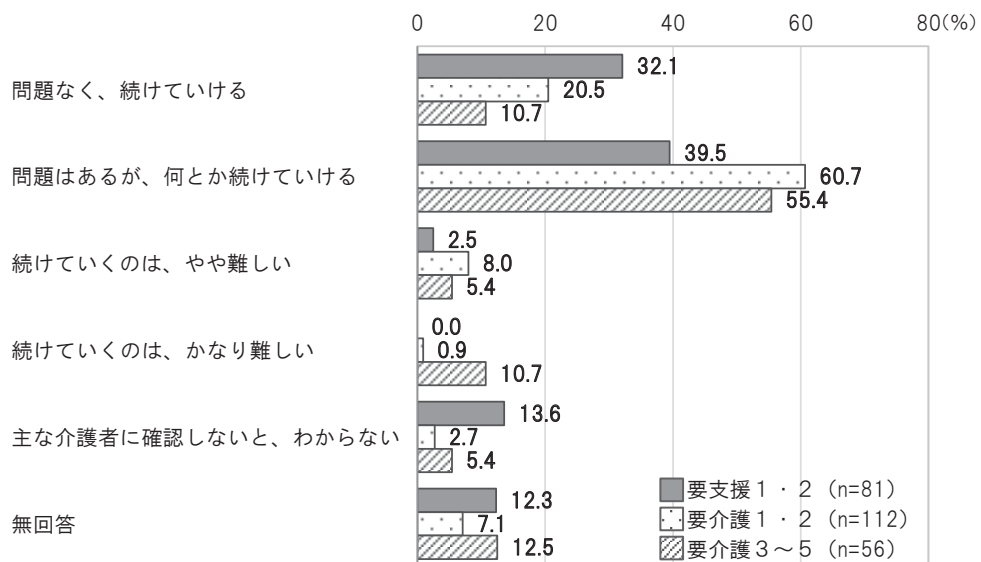
(1) で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した人のみ
 問 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

- 今後の就労継続は、「問題はあるが、何とか続けていける」が半数を超えて最も高く、次いで「問題なく、続けていける」となっており、『続けていける』が7割を超えている。
- 一方で、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは難しい』は1割近くとなっている。



《介護度別》

- 介護度別にみると、介護度が上がるほど『続けていくのは難しい』が高くなる傾向がみられ、要介護1・2では1割近く、要介護3～5では1割以上を占めている。

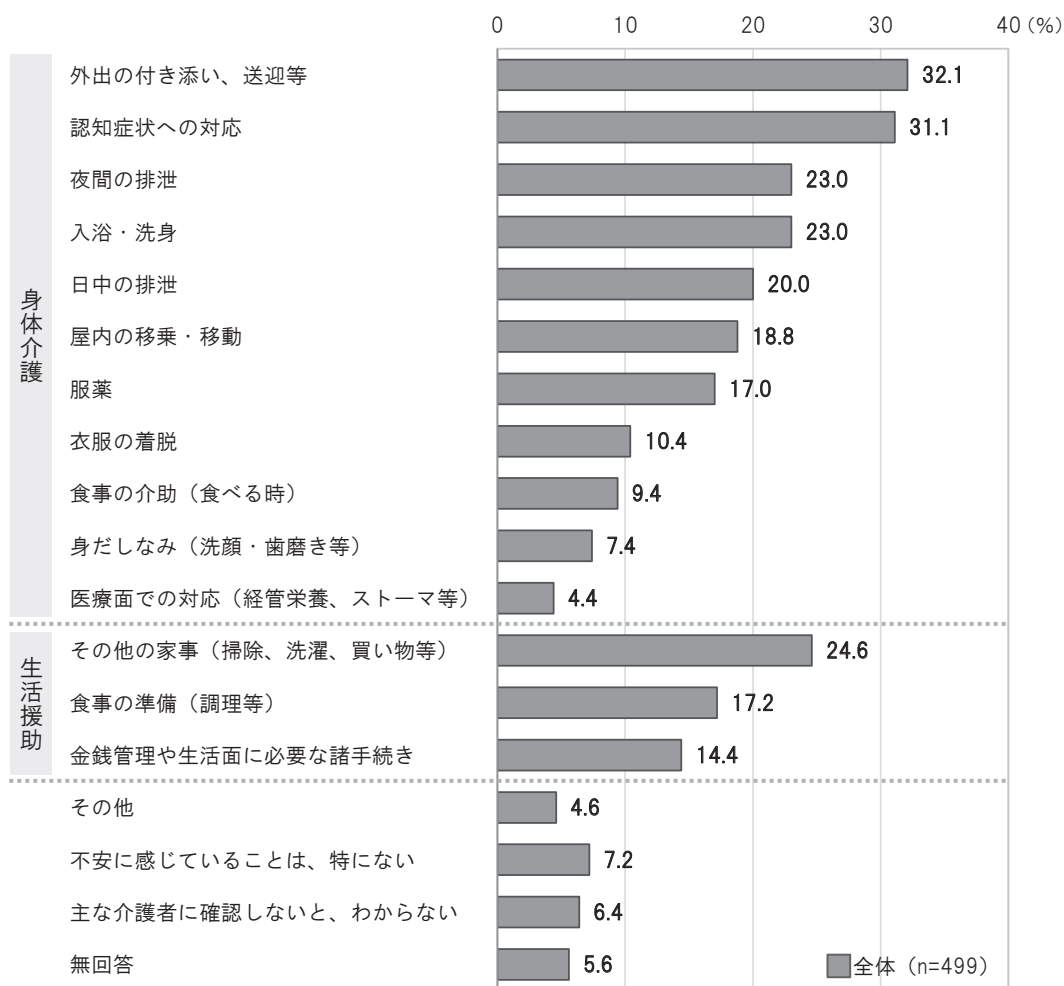


(2) 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護等

問 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまで選択可）

○現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護等は、「外出の付き添い、送迎等」及び「認知症状への対応」がともに3割を超えて最も高く、身体介護に不安を感じている人が多い結果となっている。

○生活援助では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が2割を超えてやや高くなっている。

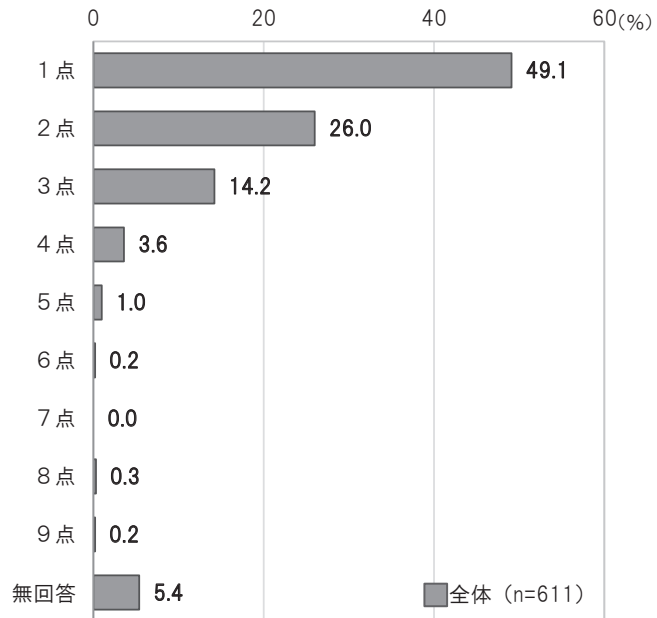


5. 生活状況について

(1) 自宅（部屋）の状況

問 ご自宅（部屋）の状況は、別紙の尺度（スケール表）のうち、どれにあたるとお考えですか。
（1つを選択）

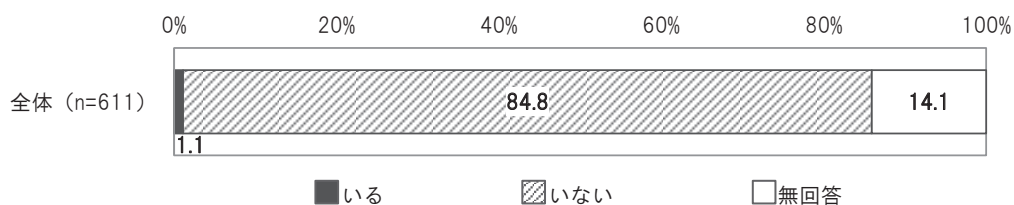
○尺度にあわせた自宅（部屋）の状況は、「1点」が約半数を占めて最も高く、次いで「2点」、「3点」の順となっている。



(2) 同居者の中のひきこもりの方の有無

問 同居の方で、家族以外の人との交流をほとんどせず、かつ仕事や学校に行かず、6か月以上続けて自宅でふさぎ込んでいる方がいますか。（1つを選択）

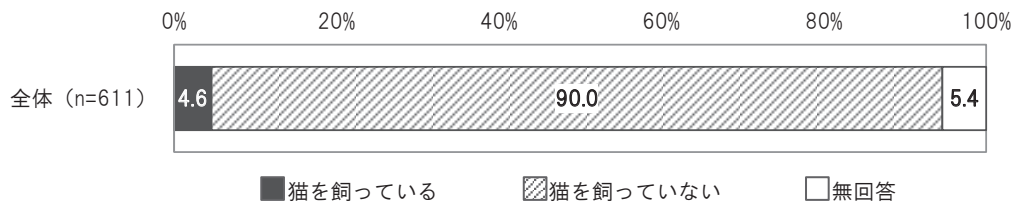
○同居者の中のひきこもりの方の有無は、「いない」が8割を超えて大半を占めており、「いる」は1.1%となっている。



(3) 猫の飼育の有無

問 猫の飼育をしていますか。(1つを選択)

○猫の飼育の有無は、「猫を飼っていない」が約9割を占めており、「猫を飼っている」は5%未満となっている。

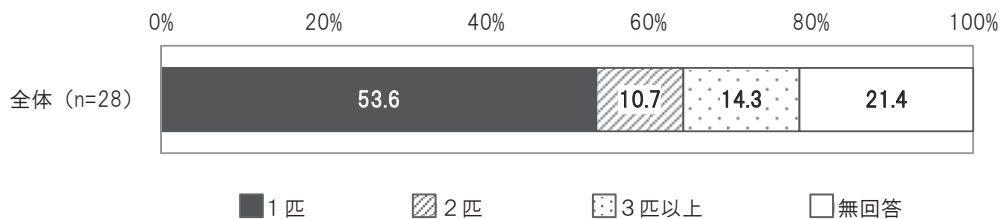


(3-1) 猫の飼育数

(3)で「猫を飼っている」と回答した人のみ

問 何匹飼われていますか。(数を記入)

○猫を飼育している人の飼育数は、「1匹」が半数を超えて最も高くなっているものの、「3匹以上」が1割を超えている。また、最大では「8匹」の回答がみられた。



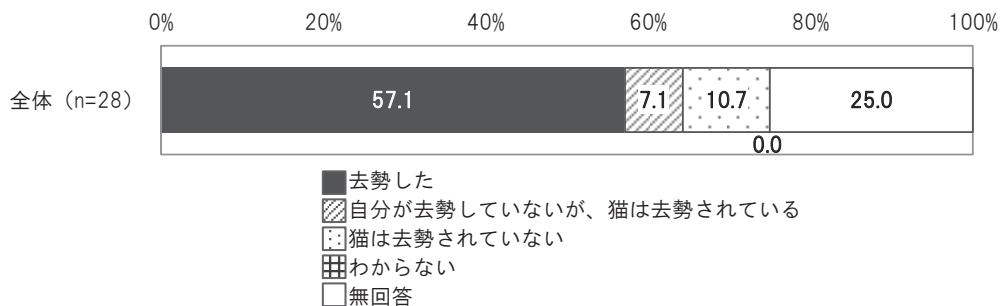
(3-2) 飼育している猫の去勢の状況

(3)で「猫を飼っている」と回答した人のみ

問 その猫は去勢されていますか。(1つを選択)

○飼育猫の去勢の状況は、「去勢した」が6割近くを占めて最も高く、「自分が去勢していないが、猫は去勢されている」と合わせると『去勢している』が6割を超えている。

○一方で、「猫は去勢されていない」が約1割となっている。



尼崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
(生き生き!!あま咲きプラン) 策定のための
アンケート調査結果報告書
(令和5(2023)年3月)

編集・発行

尼崎市 健康福祉局 福祉部 高齢介護課

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話：06-6489-6356

FAX：06-6489-6528

